

令和4年度  
事業報告書



社会福祉法人 うきは市社会福祉協議会

目次

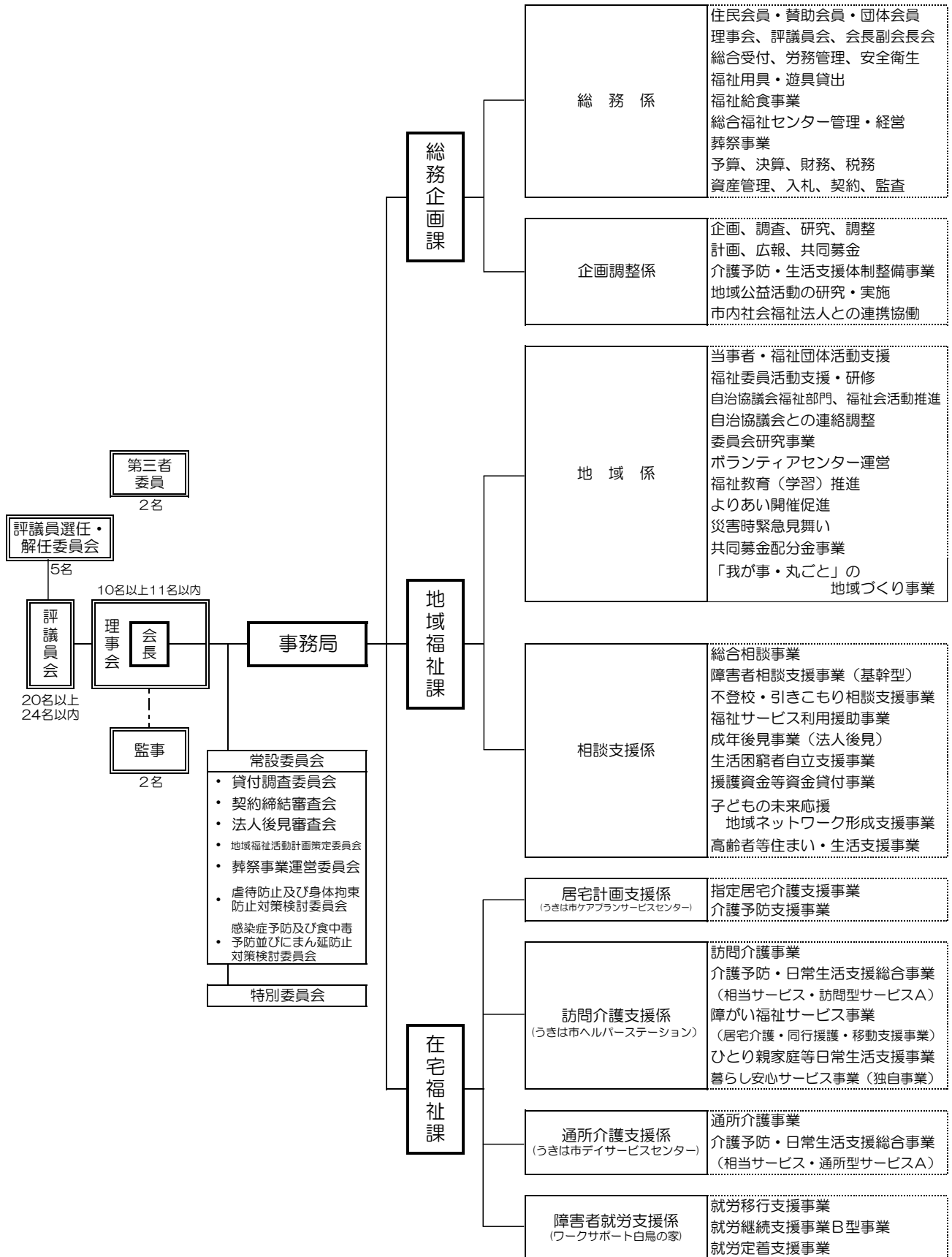
令和4年度 事業報告書

□うきは市社会福祉協議会組織図	1
□うきは市社会福祉協議会組織構成、役員名簿、評議員選任・解任委員会委員名簿	2
評議員選出区分一覧、第三者委員名簿、常設委員会委員長名簿	3
□うきは市社会福祉協議会運営理念、基本目標、令和4年度事業報告概要	4
I 総務・企画部門	
《総務係》	5
1. 法人運営	5
2. 各部門の総合調整、活動支援	8
3. 福祉給食	8
4. 管理・経営（指定管理）	9
5. 福祉用具の無料貸出	9
6. 公益事業（葬祭事業）	10
7. 豪雨・台風等災害支援	11
8. 在宅福祉サービスあり方検討委員会	11
《企画調整係》	12
1. 調査・企画・広報事業	12
2. 介護予防・生活支援体制整備事業	13
3. 地域公益活動についての研究・実施	14
4. 市内の社会福祉法人との連絡調整・協働	14
5. 第4期うきは市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定	17
II 地域福祉部門	
《地域係》	18
1. 委員会研究事業	18
2. 連絡調整事業	18
3. ふれあいのまちづくり推進事業	18
4. 共同募金配分金事業	25
5. 我が事・丸ごとの地域づくり推進事業	30
6. たすけあい献血推進事業	33
7. 移送サービス支援事業	33
8. 子育てママの健康美容教室（CO・OP 共済地域ささえあい助成事業）	34
《相談支援係》	34
1. 生活困窮者自立支援事業	34
2. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）	36
3. 成年後見事業	38
4. うきは市障害者相談支援センター	38
5. 不登校・ひきこもり対策相談支援事業	40
6. 子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業	41
7. 高齢者等住まい・生活支援事業	42
8. 資金貸付事業	44
III 在宅福祉部門	
1. 居宅計画支援係（うきは市ケアプランサービスセンター）	46
2. 訪問介護支援係（うきは市ヘルパーステーション）	46
3. 通所介護支援係（うきは市デイサービスセンター）	47
4. 障害者就労支援係（ワークサポート白鳥の家）	48
5. 制度補足サービス	50
6. 連携・協働事業	51

7. 家族介護者交流事業	51
IV その他	
1. 実習・見学受入状況等	52
2. 講演、事例報告への職員派遣	52
V 令和4年度 寄付概要	
1. 香典返し寄付	53
2. 一般寄付	53
3. 物品寄付	53
□ 令和4年度事業報告付属明細書	54

# うきは市社会福祉協議会組織図

令和5年3月31日



## うきは市社会福祉協議会組織構成

議決機関	評議員会	20名以上24名以内
執行機関	理事会	10名以上11名以内
監査機関	監事	2名
常設委員会	評議員選任・解任委員会	5名
	地域福祉活動計画策定委員会	21名
	契約締結審査会	7名
	法人後見審査会	5名
	貸付調査委員会	9名
	葬祭事業運営委員会	10名

### 役員名簿 (令和5年3月31日現在)

(敬称略)

役 職	氏 名 (選出区分)	
理事 (会長)	高山 敏 枝	(識見を有する者)
〃 (副会長)	石井 忠 孝	(識見を有する者)
〃 (副会長)	河北 和 彦	(識見を有する者)
〃	加藤 一 昭	(識見を有する者)
〃	東 多喜子	(識見を有する者)
〃	古賀 恒 徳	(自治協議会)
〃	末金 良 幸	(自治協議会)
〃	永井 ケイ子	(民生委員児童委員協議会)
〃	足立 光 二	(保健・医療関係者)
〃	西見 峰 子	(社会福祉法人の役職員)
〃	平田 真 弓	(ボランティア連絡協議会)
監 事	三浦 隆 文	(財務管理に識見を有する者)
〃	高木 新一郎	(社会福祉事業に識見を有する者)

### 評議員選任・解任委員会 委員名簿 (令和5年3月31日現在) (敬称略)

構 成	氏 名
外部委員	石井 スエ子
外部委員	熊谷 幸 一
外部委員	大 力 英 行
監 事	三浦 隆 文
事務局員	田村 吉 彦

### 評議員選出区分一覧 (令和5年3月31日現在)

区 分	区分の内訳	定 数	現 数
住民組織	自治協議会	4名以内	4名
当事者の団体及び 組織	老人クラブ	1名	1名
	障がい者福祉協会	1名	1名
	精神障がい者家族会	1名	1名
	母子寡婦福祉会	1名	1名
	子育て・育児団体	1名	—
	在宅介護者の会	1名	1名
社会福祉に関する活動 を行う団体及び組織	福祉委員	2名以内	2名
	ボランティア連絡協議会	1名	1名
	農業協同組合	1名	1名
	人権擁護委員会	1名	1名
民生委員・児童委員 またはその組織	民生委員児童委員協議会	1名	1名
社会福祉事業者関係	社会福祉施設(社会福祉法人)	1名	1名
	介護サービス事業連絡会	1名	1名
保健・医療・教育等の 関係機関・団体	小中学校長会	1名	1名
	P T A連絡協議会	1名	1名
	保健・医療関係機関・団体	2名以内	2名
地域福祉推進に必要な地 域の主要な諸団体	商工会	1名	1名
	青年会議所	1名	1名
計		20名以上 24名以内	23名

### 第三者委員名簿 (令和5年3月31日現在) (敬称略)

選 出 区 分	氏 名
学識経験者	楠 原 利 春
学識経験者	熊 懐 勝 子

### 常設委員会委員長名簿 (令和5年3月31日現在) (敬称略)

委 員 会 名	委員長名
地域福祉活動計画策定委員会	大 熊 孝 則
契約締結審査会	國 武 雅 子
法人後見審査会	國 武 雅 子
貸付調査委員会	江 藤 武 夫
葬祭事業運営委員会	伊 藤 正 勝

## うきは市社会福祉協議会運営理念

1. 住民の皆さまの色々な声をしっかり聴きとり一緒に考えます。
2. より多くの住民皆さまと力を合わせて福祉のまちづくりを実現します。
3. サービスの質を高め在宅福祉を充実します。
4. 行政等に対応できないことでも住民皆さまと共に取り組んでいきます。
5. 地域の皆さまに積極的に福祉情報を提供します。

### 基本目標「誰もが幸せに暮らせるまちづくり」

## 令和4年度 事業報告概要

令和4年度は、長引く新型コロナウイルス感染症や様々な影響による物価高騰など、先の見えない不安感が日常生活に大きく影を落とした一年となりました。コロナ禍による外出自粛等の影響により高齢者のフレイルや単身世帯等の孤独・孤立も更に進み、社会的にも大きな問題となりました。

こうした中、本会では、高齢者の閉じこもり予防の一環として行われる、よりあい活動や安否確認のための訪問活動が安心・安全に行われるよう、独自に製作したガイドブックを関係者へ配布すると共に、経済的な影響を受けた方々へ、フードバンク支援や市民の皆様から頂いたお米等の配布も行いました。

地域公益活動では、うきは市内の社会福祉法人で組織する「うきは市社会福祉法人連絡協議会」の支援事業として、フードドライブ・フードパントリー事業を展開し、困窮する世帯への一助となるよう活動を行いました。

こうした活動では、市民の皆様をはじめ、多くの企業や事業所・関係機関の皆様のご協力をいただき、つながり合うことや支え合うことの大切さをあらためて感じさせていただきました。

また、令和2年3月から実施された緊急小口資金等特例貸付も令和4年9月末で終了しましたが、貸付を行った世帯への支援が途切れぬよう、定期的に状況確認を行い現状把握や継続的な支援に努め、令和5年度以降も継続していきます。

地域福祉計画・地域福祉活動計画については福祉事務所と協働し、住民意識調査、地区座談会、関係団体へのヒアリングなどを行い、策定委員会に於ける協議を重ね、第4期計画（計画期間令和5年度から令和9年度まで）を策定しました。今後は、この中期計画に則り、事業の展開を進めていくこととなります。

近年頻繁に発生する大規模災害に対しては、両筑地区社会福祉協議会（6社協）が合同で災害ボランティアセンター設置・運営訓練（座学・実技）を行い、職員のスキルアップや更なる連携体制の強化を図りました。また、災害支援ボランティア団体「螢火うきは」に協力いただき、災害ボランティア活動養成講座を昨年度に続き開催しました。

介護保険事業については、在宅福祉サービスあり方検討委員会を設置し協議を重ね、うきは市に不足するホームヘルパー事業が充足するよう注力するため、平成9年より運営してまいりました、うきは市デイサービスセンターを令和5年3月末で閉所することと致しました。

# I 総務企画部門

## 《総務係》

### 1. 法人運営

#### (1) 住民主体による経営と実践

①理事会【全7回】次の日程・内容にて、理事会を開催しました。

回数	期日	出席理事/監事	議案
第160回	R4.5.31	10/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度事業報告及び決算報告の承認について</li> <li>評議員候補者の推薦について</li> <li>評議員選任・解任委員会の開催について</li> <li>評議員会の開催について</li> <li>令和4年度資金運用計画について</li> </ul>
第161回	R4.6.23	10/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度正規職員採用について</li> <li>職員給与及び退職手当に関する規程の改正について</li> </ul>
第162回	R4.9.13	11/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度共同募金運動について</li> <li>顧問の委嘱について</li> <li>ワークサポート白鳥の家の大規模修繕に伴う令和5年度社会福祉施設等施設整備費補助金（大規模修繕）の申請について</li> <li>在宅福祉サービスあり方検討委員会（仮称）の設置について</li> <li>顕彰規程の改正について</li> <li>令和4年度金婚祝福の会について</li> </ul>
第163回	R4.11.21	11/1	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の在宅福祉サービスについて</li> <li>評議員会の開催・招集について</li> </ul>
第164回	R4.12.13	11/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>歳末たすけあい事業について</li> <li>職員給与及び退職手当に関する規程改正（案）について</li> </ul>
第165回	R5.2.20	9/1	<ul style="list-style-type: none"> <li>うきは市デイサービスセンター閉所に伴う利用者及び職員について</li> <li>うきは市デイサービスセンター建物の継承について</li> </ul>
第166回	R5.3.20	9/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度第1回補正予算（案）について</li> <li>諸規定の廃止及び改正並びに制定について</li> <li>令和5年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について</li> <li>次期事務局長の選任について</li> <li>第三者委員の選任について</li> <li>評議員会の開催について</li> </ul>

[会場：うきは市総合福祉センター]

②評議員会【全3回】次の日程・内容にて、評議員会を開催しました。

回数	期日	出席者出席/総数	議案
第58回	R4.6.23	21/23	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度事業報告及び決算報告の承認について</li> </ul>
第59回	R4.11.29	16/23	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の在宅福祉サービスについて</li> </ul>
第60回	R5.3.30	19/23	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度第1次補正予算（案）について</li> <li>令和5年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について</li> </ul>

[会場：うきは市総合福祉センター]

③監査【全5回】次の日程・内容にて監査を実施しました。

回数	期日	出席者出席/総数	監査事項
第1回	R4.5.19	2/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度決算監査</li> </ul>
第2回	R4.7.22	2/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度第1期監査（4～6月）</li> </ul>
第3回	R4.10.21	2/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度第2期監査（7～9月）</li> </ul>
第4回	R5.1.20	2/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度第3期監査（10～12月）</li> </ul>
第5回	R5.3.17	2/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度第4期監査（1～2月）</li> </ul>

[会場：うきは市総合福祉センター]



④会長・副会長【全5回】次の日程・内容にて、会長・副会長会を開催しました。

回数	期日	出席者 出席 / 総数	主な議題
第1回	R4.5.23	3/3	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度事業報告・決算報告について</li> <li>評議員の交代について</li> <li>令和4年度資金運用計画について</li> <li>理事会提案事項について</li> <li>今後のスケジュールについて</li> </ul>
第2回	R4.6.21	3/3	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度新規職員採用について</li> <li>初任給の基準について</li> <li>在宅福祉サービスあり方検討委員会（仮称）について</li> </ul>
第3回	R4.9.9	3/3	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度共同募金運動について</li> <li>うきは市議会議長交代に伴う顧問の委嘱について</li> <li>ワークサポート白鳥の家の大規模修繕に伴う令和5年度社会福祉施設等整備費補助金（大規模修繕）の申請について</li> <li>在宅福祉サービスあり方検討委員会（仮称）の設置について</li> <li>顕彰規程の改正について</li> <li>金婚祝福の会について</li> <li>理事会提案事項について</li> <li>令和5年度正規職員採用試験について</li> <li>本会における新型コロナウイルス感染発症状況について</li> <li>新型コロナウイルス特例貸付の状況について</li> <li>福祉川柳選定結果について</li> </ul>
第4回	R4.12.9	3/3	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年共同募金運動について</li> <li>歳末たすけあい事業について</li> <li>諸規程の改正について</li> <li>デイサービスセンター事業廃止に向けての経過について</li> <li>理事会提案事項について</li> </ul>
第5回	R5.3.14	3/3	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度第1次補正予算（案）について</li> <li>諸規定の廃止及び改正並びに制定について</li> <li>令和5年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について</li> <li>次期事務局長の人事及び職員体制について</li> <li>第三者委員の選任について</li> <li>理事会の開催及び提案事項について</li> <li>令和5年度区長業務説明会について</li> </ul>

[会場：うきは市総合福祉センター]

⑤評議員選任・解任委員会【全1回】次の日程・内容にて評議員選任・解任委員会を開催しました。

回数	期日	出席者 出席 / 総数	内容
第1回	R4.6.8	5/5	<ul style="list-style-type: none"> <li>選出母体の役員変更に伴う新たな評議員の選任について</li> </ul>

[会場：うきは市総合福祉センター]

⑥新任評議員の研修の実施

期日	参加人数	内容
R4.7.13	2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局説明（社協の組織、運営、各課の業務内容）</li> </ul>

[会場：うきは市総合福祉センター]

(2) 法人の健全経営

- ①社会福祉法その他関係法令、内部諸規程に則った適切な経営
  - ・社会福祉法及び関係法令・通知の改正に伴う諸規程の改正
- ②顧問税理士の助言及び社会福祉協議会モデル経理規程に則った適切な財務・会計事務
  - ・消費税及び法人税納付関連事務
- ③顧問社会保険労務士の助言による適切な労務管理
  - ・働き方改革に沿った労務管理改善の実施
- ④職員安全衛生推進委員会による働きやすい職場環境づくり
  - ・安全衛生推進委員会の開催（8月・2月）

- ・アドバイザー・保健師による職場巡回（中止）
  - ・「こころと体の相談」の実施（毎月）※面談及び電話相談にて実施。
  - ・健康診断要再検診者への受診指導
- ⑤監事による定期監査
- ・事業計画に基づく経営状況の確認
  - ・職員時間外労働、有給休暇取得の確認
- ⑥第三者委員による苦情相談会開催（奇数月）

### （3）財政基盤の強化

①社協会員の拡大…地域や関係団体への説明の機会を設け、会員加入促進を図りました。

#### ア. 住民会員、賛助会員

地区名	住民会員			賛助会員		会費計
	(加入世帯 / 総世帯)	加入率	会費	加入口数	会費	
妹川	122/148	82.4%	61,000円	96口	48,000円	109,000円
新川	85/117	72.6%	42,500円	41口	20,500円	63,000円
田籠	41/59	69.5%	20,500円	44口	22,000円	42,500円
小塩	156/208	75.0%	78,000円	51口	25,500円	103,500円
山春	673/875	76.9%	336,500円	482口	241,000円	577,500円
大石	605/930	65.1%	302,500円	468口	234,000円	536,500円
御幸	1,580/2,390	66.1%	789,885円	761口	374,800円	1,164,685円
千年	676/1,604	42.1%	312,400円	101口	50,500円	362,900円
吉井	1,053/1,718	61.3%	521,500円	174口	87,000円	608,500円
福富	931/1,384	67.3%	451,500円	143口	71,000円	522,500円
江南	764/1,072	71.3%	375,000円	52口	26,000円	401,000円
市外				32口	16,000円	16,000円
合計	6,686/10,505	63.6%	3,291,285円	2,445口	1,216,300円	4,507,585円

※住民会費は一世帯 500 円、賛助会費は 1 口 500 円ですが、募金と混同して入金があるため金額に端数が出ています。

※総世帯数は、区長文書配布数となっています。

#### イ. 団体会員（1 団体 年会費 5,000 円）

- 社会福祉法人両筑福祉会（浮羽学園）
- 社会福祉法人浮羽コロニー（希望が丘）
- 社会福祉法人図南会（えびね荘）
- 社会福祉法人遊林福祉会（遊林愛児園）
- 社会福祉法人ふたば会（水月吉井、養護老人ホームうきは）
- 社会福祉法人幸輪福祉会（エバーガーデンうきは）
- 社会福祉法人幸輪会（うきは幸輪保育園、若葉保育園）
- 特定非営利活動法人みつば会（浮羽共同作業所）
- 絆データシステム株式会社
- 合計 9 団体 45,000 円

### （4）職員育成と職員体制の充実

①研修計画に基づいた職員育成研修の実施

- ・新任職員研修（令和 4 年 4 月 13 日）
- 参加者：6 名

- ・職員全体研修（令和4年4月20日）  
内 容：「令和4年度の各部門の重点事項を知ろう」  
参加者：53名
- ・職員全体研修（令和4年10月19日）  
内 容：「この冬を乗り切るための感染症対策 インフルエンザ・コロナ対策を今一度見直そう」  
参加者：58名
- ・人権研修 ※各部署ごとに実施  
内 容：DVD 視聴  
「私たち一人ひとりができること」 参加者：31名  
「防ごう高齢者虐待」 参加者：19名  
「障がいのある人と人権」 参加者：9名
- ②人材確保を目的とする職員処遇改善
  - ・職員就業規則改正
  - ・嘱託職員就業規則改正
- ③職員の福祉資格取得促進
  - ・資格取得及び更新研修費用の助成 1件
- ④専門職員配置の充実
  - ・令和4年度有資格者嘱託職員の採用 2名

## 2. 各部門の総合調整、活動支援

### (1) 管理職会議（月1回）

毎月1回定例にて会長以下、事務局長、課長、課長補佐、係長、管理者を招集し開催。管理職会議において事業の進捗状況、連絡調整事項等について協議しました。

## 3. 福祉給食

### (1) 「食」の自立支援事業（市受託事業）

利用者の年間延べ人数は、1,212人（前年度比+20名）、延べ配食数は37,001食（前年度比+370食）となり、当初の配食計画数（44,000食）を、大幅に下回りました。配食数減少の要因として、事業の目的に添って対象者の見直しを行い、食の確保に加え、安否確認を必要とする一人暮らし高齢者等で、買い物に行くことができない方に制限し、事業を進めたことにあります。あわせて、民間の宅配サービスの利用増加も背景に見られました。

しかしながら、本事業利用により、栄養面から健康状態が回復されて、買い物に行けるようになった方、調理が出来るようになった方もおられて、在宅生活での自立支援につながっています。

献立については、栄養士が地産地消を基本に季節感を味わって頂く工夫や栄養管理を行いました。

調理については、利用者の状態に応じて、お粥や刻み食に変更したり、服薬等により禁食がある方については、献立内容を一部変更するなどの対応を行いました。また、お弁当を届ける際も玄関口まで出てこられない方には居室まで届けたり、弁当箱を洗うことができない方やペットを屋内で飼っている方には、衛生面に考慮し使い捨ての弁当箱（利用者負担）を使用するなど、利用者の状況に沿った対応を行いました。

安否確認については、配食時に不在等で安否の確認ができなかった方には、不在連絡用紙を添え、帰宅したら電話を頂くようにし、連絡がない場合は、本人及び親族あるいはケアマネジャーなどの関係者へ連絡を取るなどして、確認の徹底を図っています。今年度においても、配食時に体調不良に気づき家族や関係機関に連絡し救急搬送したケースや、自宅で倒れているところを配食時に発見し救急車の手配をしたケース等がありました。このように、安否確認においては、平素より関係機関と連絡相談等を密に行い、食の面から利用者が健康で安心した生活を送れるように努めてきました。

このように、本事業では、食の面から利用者の健康を支えるとともに、配達時の声かけや安否確認、平素からの関係機関との連絡・相談等を行いながら、住み慣れた地域でいつまでも自立した生活を送れるよう支援を行いました。

□配食日：月曜日～土曜日（但し、8/14・15、12/30～1/3を除く）昼食と夕食

□利用者負担：1食400円（但し、生活保護受給者1食300円）

- 活動体制 : 調理 給食員 3.5～4名  
                   献立 栄養士 (調理兼務)  
                   配食 給食員とボランティア (37名登録、R 5.3月末現在)
- 配食コース: 昼食4コース (内、ボランティア 月～土4名)  
                   夕食7コース (内、ボランティア 月～土5名)

【食の自立支援事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	99	101	98	98	101	106	104	105	104	98	96	102	1,212
実施日数	26	26	26	26	26	26	26	26	25	24	24	27	308
配食数	昼食	1,152	1,165	1,151	1,166	1,176	1,070	1,076	1,100	1,084	1,020	1,005	13,246
	夕食	2,049	1,981	1,919	1,970	2,014	2,072	2,142	2,072	1,987	1,791	1,731	23,755
	合計	3,201	3,146	3,070	3,136	3,190	3,142	3,218	3,172	3,071	2,811	2,736	37,001

【利用者区分 (R5.3月末現在)】

区分	一人暮らし高齢者	高齢者夫婦	障がい者	その他	合計
利用者数	86名	8名	2名	6名	102名

【配食時の安否確認件数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
安否確認件数	1,512件	854件	804件	646件	874件
(内緊急対応件数)	4件	6件	7件	4件	6件

※総数にはあったか宅配サービス利用者を含む。

(2) あったか宅配サービス (共同募金配分金事業)

利用者や市の要望を受けて、市の「食の自立支援事業」を利用していたが中止となった方や、申込みをしたが該当しなかった方で、本会が食の確保が必要と認められた方に、健康で自立した生活を送ることができるよう、配食を通して支援しました。

□利用者負担 / 1食 500円

【あったか宅配サービス実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	5	5	5	5	5	6	5	5	5	7	7	5	65
配食数	151	151	152	151	152	169	129	131	125	123	140	135	1,709

※実利用者数 8名

4. 管理・経営 (指定管理)

(1) うきは市総合福祉センター

うきは市総合福祉センターが施設の目的に従って利用促進が図られるように努めました。

【うきは市総合福祉センター利用実績】

	開館日数	一般貸出室				その他の部屋	総利用者数
		利用料免除団体		一般利用			
		団体数	人数	団体数	人数		
年間計	292日	243団体	3,596人	31団体	367人	4,140人	8,103人
月平均	24.3日	20.3団体	299.7人	2.6団体	30.6人	345.0人	675.3人
1日平均	—	0.8団体	12.3人	0.1団体	1.3人	14.2人	27.8人

5. 福祉用具の無料貸出 (地域福祉部門との協働)

(1) 福祉用具無料貸出

① 福祉用具無料貸出

在宅生活に支障のある方を支援するために、社協保有の福祉用具の貸出を行いました。

【福祉用具の貸出状況】

貸出用具	貸出件数	貸出用具	貸出件数
車いす	89件	杖	4件
介護用ベッド	5件	シャワーチェア	7件
ポータブルトイレ	11件	押し車	15件
歩行器	10件	松葉杖	1件
手すり	1件	合計	143件

②老人クラブ奉仕部による福祉用具の点検実施

うきは市老人クラブ連合会の協力により、毎月当番を決め福祉用具の点検を実施いただいています。これにより、福祉用具を安心してご利用いただけます。

【老人クラブ奉仕部による福祉用具の点検実施状況】

点検実施会場	点検回数	協力延人数
うきは市総合福祉センター	3回	9人
うきは市民センター	5回	15人
合計	8回	24人

③社会参加促進交流事業

高齢者や障がいのある方々が安心・安全に活用できるように、車椅子等福祉用具の購入及び修理に必要な物品を購入しました。

6. 公益事業（葬祭事業）

誰も訪れる死に対し、華美な飾り付けや出費をおおらず、荘厳で丁寧な葬儀を低額で提供できるようにサービスの充実に努めました。また、広報や終活セミナー等を通して、社協の葬祭事業について市民への周知を図りました。

(1) 自宅、集会所、寺院、斎場での葬儀の実施状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自宅・寺院葬	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3	0	1	6
斎場葬	本館	5	6	5	5	13	9	6	5	12	9	10	90
	和室	2	3	1	1	2	2	0	3	1	0	0	16
	別館	5	2	7	8	9	12	11	5	10	13	7	94
	小計	12	11	13	14	24	23	17	13	16	25	17	200
直葬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	12	11	13	14	25	23	18	13	16	28	17	16	206
(内市外者)	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2	0	6
市内死亡者数	32	26	29	31	50	38	40	37	38	57	36	36	450
市内利用率	37.5%	42.3%	44.8%	45.2%	50.0%	55.3%	45.0%	35.1%	42.1%	45.6%	41.7%	44.4%	44.4%

①斎場葬の実施に伴うサービス提供

- ・無料送迎バスの実施・・・43件（利用率 21.5%）
- ・無料朝食提供の実施・・・67件（利用率 33.5%）

(2) 葬祭事業運営委員会【全2回】

期日	会場	出席者	議題
R4.7.1	うきは斎場本館おととき室	委員9名	・斎場折込チラシについて ・縁デイングノートの活用及び終活セミナーについて ・施設整備について
R5.2.10	うきは斎場本館おととき室	委員7名	・縁デイングノートの活用及び終活セミナーについて ・令和5年度葬祭事業への意見・提言

・委員会の提言事項

- ①故人の想いと遺族に寄り添う福祉葬儀の充実を図り、利用者に優しい葬儀をお願いしたい。
- ②「縁ディングノート」の活用、終活セミナーの開催について、充分周知を行ったうえで取り組んでいくことをお願いしたい。
- ③一層の吉井町域住民への周知と啓発をお願いしたい。
- ④感染症予防対策を十分に講じ、安心して利用できる環境衛生に努めることをお願いしたい。

(3) 葬祭事業の周知

- ①広報誌「ふくしのかかわら版」へのチラシの折り込み。2回（8月号、12月号）
- ②ホームページ内に福祉葬儀の専用サイトを開設。

(4) 終活セミナーの開催

期 日	会 場	参加者	内 容
R4.9.8	うきは市総合福祉センター	20名	・相続登記の義務化など最近の法改正について 講師：弁護士 桑原 義浩 氏
R4.10.7	うきは市民センター	21名	・縁ディングノートについて ・うきは斎場見学（希望者）

※感染予防を含めた衛生管理の実施

斎場内に次亜塩素酸空間除菌脱臭機の設置、手指消毒、検温、利用座席の間隔を空けるなどを徹底し対策に努めました。

7. 豪雨・台風等災害支援

令和4年7月・8月の大雨ではうきは市内でも道路冠水や土砂災害等が発生しました。うきは市社会福祉協議会では、被災状況を市や自治協議会へ確認し、現地調査や必要に応じて復旧支援や必要備品の貸出を行いました。

(1) 市内被災状況の確認

7/19 大雨

現地調査7地区（栗木野、中鶴、川原町、長野区、福久区、三角区、19区）

必要備品の貸出 サーキュレーター3台 電気ドラム1台

生活路復旧支援 1件（土砂撤去・法面養生等活動 11名（螢火うきは5名 社協職員6名）

8/24 短時間大雨

現地調査9地区（中鶴、浮羽、川原町、長野、三角、2区、19区、安富、三牟田）

必要備品の貸出 サーキュレーター6台 電気ドラム2台

(2) 両筑地区社協災害時相互支援協定に基づく支援

支援要請無し

8. 在宅福祉サービスあり方検討委員会

うきは市社会福祉協議会では、高齢者、障がい者を対象とした訪問型、通所型の在宅福祉サービスを実施していますが、全国的な傾向に見られるように、人材確保の困難さや事業経営の難しさから、在宅福祉サービスの今後の見通しを立てるために、「在宅福祉サービスあり方検討委員会」を設置し、以下の日程にて協議が重ねられ、社協会長に答申がなされました。

【会長諮問事項】

近年、利用者の減少や介護報酬の改定により収益の悪化が続いている。併せて、人材の確保が困難な状況となっていることから、今後の在宅福祉サービスのあり方について検討いただきたい。

	期日	出席者	協議事項
第1回	R4.9.30	委員9名	・うきは市の現状 ・本会における在宅福祉サービスの現状 ・今後の在宅福祉サービスのあり方
第2回	R4.10.12	委員9名	・第1回検討委員会での質問事項について ・在宅福祉事業の収支見込みについて ・今後のスケジュールについて

第3回	R4.10.26	委員9名	・答申（案）について ・今後の進め方（スケジュール）について
第4回	R4.10.28	委員8名	・答申について

**【答申事項】**

1. うきは市デイサービスセンターの事業については、現在、市内に同様の事業を行う民間事業所が多数存在し充足され、利用者確保が厳しい状況にあることから、社協として一定の役割を果たしたと考え、令和5年度の早い段階を目的に廃止すること。  
なお、廃止に伴う新たなサービス受け入れ先については、利用者・家族の意向に十分に配慮し、サービスの空白等の不利益が生じないように誠心誠意対応すること。
2. うきは市ヘルパーステーションの事業については、市内におけるサービスの供給が不足していることから、廃止するデイサービスセンターの職員を異動することにより人的拡充を行い、今後も介護保険事業及び障害福祉サービスを継続させ在宅福祉サービスの充実を図ること。
3. 将来的な介護職員の確保については、市内の介護事業所等と連携し、行政に対して働きかけを行い、うきは市において在宅福祉サービスが引き続き提供できるようにすること。
4. 障害福祉サービスについては、現在一定の需要があるが、今後の動向に留意しながら、必要とされるニーズに応じたサービス提供が出来るよう努めること。

**《企画調整係》**

**1. 調査・企画・広報事業**

行政や関係機関より福祉に関する統計情報（データ）を収集し、うきは市の福祉の全体像を把握すると共に、福祉座談会や「ふくしかわら版」等を活用して福祉課題を拾い上げました。

また、広報やホームページなど様々な媒体により地域福祉の情報を発信し、啓発活動を行い、社協の見える化を推進しました。

**(1) 「ふくしのかわら版」を活用した福祉課題の把握**

市民からの声を拾い上げるために、ふくしのかわら版（9月号、3月号）を活用し、郵送形式による福祉課題の把握を行い、4通の返送を頂きました。

また、ホームページにもお問い合わせのページを設け、1通のお問い合わせを頂きました。

なお、送付いただいた内容については、事務局での検討や対応、市への取り次ぎ、あるいは地元の民生委員等と連絡を取り、状況確認と支援を行いました。

**(2) 年次調査統計要覧の作成**

うきは市の人口や世帯の増減、高齢率・年少率等の福祉活動の参考データを算出するために、市福祉事務所福祉係を介して情報政策係に情報提供を依頼し、うきは市の基本データの集積を行うと共に、久留米児童相談所やハローワーク等の関係機関に対しても福祉に係る調査結果等の情報提供いただき、政府機関が公表しているデータと合わせて「年次統計要覧」を作成しました。

**(3) 社協だより「ふくしのかわら版」の編集発行 年12回（共同募金配分金事業）**

うきは市内の地域福祉活動や福祉サービスに関する情報、その他の福祉意識の啓発に関する事などを、うきは市民にお伝えするために、毎月15日に「ふくしのかわら版」を発行し、全戸に配布しました。

**(4) ホームページの管理・運営 毎月1日、15日に定例更新（共同募金配分金事業）**

社協の見える化を推進するため、昨年度ホームページの全面リニューアルを実施しました。あわせてスマートフォンやタブレットに対応できるように環境を整え、定期広報誌については発行に併せて月2回更新を行いました。また、ホームページ中のカレンダーには、随時、社協事業など最新の情報を掲載しました。

(5) フェイスブック・ツイッターの管理・運営

フェイスブック・ツイッターを通して、地域福祉の情報提供や啓発活動を行い、社協活動の見える化を推進しました。(フォロワー数/フェイスブック 1015、ツイッター 621)

(6) 防災無線（行政放送）の活用

社協の相談窓口等をお知らせするために、市役所防災無線を活用させて頂きました。

(7) 住民啓発資材（社協名入り花の種、各種パンフレット等）

社協の連絡先や相談窓口を啓発するための資材として、花の種、ボールペン、クリアファイルなどを作成配布しました。

2. 介護予防・生活支援体制整備事業（市受託事業）（地域福祉部門との協働）

(1) 市・社協連絡調整会議実施状況

事業推進にあたり、うきは市役所保健課介護・高齢者支援係と定例協議を行うと共に、就労的活動支援や企業との連携も視野に、うきは市役所保健課介護・高齢者支援係、うきはブランド推進課商工振興係、生涯学習課社会教育係、その他関係機関・団体等も交えた会議に参加し、現在の課題や今後の事業推進に向けた情報共有及び協議を行いました。また、包括連携協定を結んでいるさわやか福祉財団とも必要に応じて打合せを行い、県内及び全国的な事業の情勢を含めたアドバイスをいただきました。今後も市の関係部署と連携を密に取りながら、事業推進を行ってまいります。

(2) 企業・関係機関との連絡調整

事業推進にあたり、企業等と連携し、高齢者の幅広い生活支援を検討する機会が増えており、今年度も、市内移動販売業者との連携協定会議や市内携帯キャリア会社・関連企業とのデジタルツール活用に向けたスマホ教室に関する打合せを行い、スマホ教室開催にもつながっています。今後も企業等と連携を深め、地域包括ケアシステムへ多様な主体が参画できるよう、調整及び働きかけを行ってまいります。

(3) 第1層協議の場の開催状況

第2層協議の場及び各地区での取り組みの情報共有や課題提起等を目的とし、うきは市主催による第1層協議の場を下記の通り参画しました。

平成27年から生活支援体制整備事業に取り組み、協議の場の実施や推進員の配置、協議体等から派生し様々な活動も生まれてきましたが、コロナ禍により協議の場や活動等が自粛の状況にあることや事業開始から7年が経ち、協議の場や活動に参画する方にも変化が生じている状況を踏まえ、改めて事業の概要や既存活動の経緯等について整理し、今後の活動推進について意見交換を行いました。

期 日	参加者数	内 容
R4.11.18	33名	地域包括ケアシステムと生活支援体制整備事業について 説明者 うきは市第1層地域支え合い推進員  生活支援・介護予防・社会参加に関する各地区の動きについて（活動報告） 説明者 【生活支援】おおいし絆クラブ 【移動支援】江南一九の会 【介護予防】健康サークル「ほっこり」（福富地区）  グループワーク ①「介護予防・生活支援に関する各地区の現状・課題について」 ②「報告内容や各活動についての質問」

(4) 第2層圏域への支援（協議の場・第2層地域支え合い推進員・各種活動への支援）

今年度については、継続して地域との協議を重ねましたが、新型コロナウイルスの影響等もあり、第2層協議の場の開催には至りませんでした。うきは市および本会が策定する「第4期うきは市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定段階において実施した、地区座談会を協議の場と位置づけ、現在の各地区の課題や、今後の取り組みについての意見交換を行いました。

また、第2層地域支え合い推進員が配置されている江南地区、御幸地区、妹川地区、福富地区、山春地区に



については、各地区推進員との協議・打合せ等を重ね活動支援を行いました。なお、協議の場および第2層地域支え合い推進員未設置の地区についても自治協議会をはじめ地域の関係者と打ち合わせ等を重ね、コロナ禍でも可能な取り組みを地域の状況に応じて実施することができるよう支援を行いました。

【第2層地域支え合い推進員が配置されている地区の取り組み（一部抜粋）】

江南地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問型サービスD「江南一九の会」（移動支援）</li> <li>・通所型サービスB「なないろ」</li> </ul>
御幸地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所型サービスB「にこにこサロン」</li> <li>・「いきいきサロン」</li> <li>・みゆきカフェ 28</li> <li>・御幸地区生活支援クラブ</li> </ul>
妹川地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問型サービスD「わくわくいもがわ号」（移動支援）</li> </ul>
福富地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所型サービスB「健康サークル ほっこり」</li> <li>・スマホ教室</li> <li>・ベンチづくり</li> </ul>
山春地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山春しあわせ会</li> <li>・なごみの場山北</li> <li>・地域の居場所活動・移動販売に関する広報活動</li> <li>・ウォーキングイベントの開催</li> </ul>

(5) 地域資源の開発

地域資源の開発として立ち上げ支援を行った市内生活支援グループ『おいしい絆クラブ』及び『14区おたすけ隊』に関して、会の活動がスムーズに行えるよう、役員会等へ参加し助言・活動支援等を行いました。また、御幸地区における生活支援グループの立ち上げに向けた規約の作成・会の運営に関する提案等を行いました。

移動支援については、令和元年5月より活動開始した「わくわくいもがわ号」（妹川地区）及び令和元年6月より活動開始した「江南一九の会」（江南地区）の2つの取り組みが、令和3年4月より訪問型サービスDへ移行しており、移行後も引き続き、運営委員会や情報共有連絡会に参加し助言・活動支援等を行いました。

(6) 地域ケア会議への参加について

市が主催する「地域ケア会議」及び「判定会議」に参加し、高齢者の実態把握や自立支援に向けた個別事例の検討、地域に共通した地域課題や地域に必要な資源の把握等を行いました。

3. 地域公益活動についての研究・実施（地域福祉部門・在宅福祉部門との協働）

県内の社会福祉法人による、地域における公益的な取組のひとつとして行う「ふくおかライフレスキュー事業」に参加し、うきは市に於いて必要な方への支援活動を行いました。

うきは市でも、「ふくおかライフレスキュー事業」で市内の社会福祉法人が連携し、支援を必要とする方に対し、必要な制度やサービスに繋いだり、また既存制度では解決できずに困っている方々に対して、専任のサポーターが相談支援や伴走支援を行い、必要な場合は生活必需品や費用等を現物により支給するなどの支援を行っていますが、今年度は、対応件数はありませんでした。

4. 市内の社会福祉法人との連絡調整・協働

平成26年11月14日に、うきは市内の社会福祉法人の代表者が集まり、地域公益活動の研究・意見交換を行い、その結果、地域福祉の増進に寄与することを目的に、市内7法人で「うきは市社会福祉法人連絡協議会」を発足しました。今年度も、うきは市内の全社会福祉法人9法人が協働で社会貢献活動に取り組みました。

【うきは市社会福祉法人連絡協議会参加法人】

図南会（えびね荘）、ふたば会（水月吉井・養護老人ホームうきは）、浮羽コロニー（希望が丘）、両筑福祉会（浮羽学園）、遊林福祉会（遊林愛児園）、幸輪会（うきは幸輪保育園・若葉保育園）、幸輪福祉会（エバーガーデンうきは）、ひじり会（ひじり園うきは・にじの家）、うきは市社会福祉協議会

(1) 代表者会、社会貢献プロジェクト委員会の実施

【うきは市社会福祉法人連絡協議会代表者会】

期 日	会 場	内 容
R4.6.29	うきは市総合福祉センター	①令和3年度うきは市社会福祉法人連絡協議会 事業報告 ②令和3年度うきは市社会福祉法人連絡協議会 決算報告、監査報告 ③社会貢献プロジェクト委員会要項改正について ④令和4年度社会貢献プロジェクト委員会について
R4.11.4	うきは市総合福祉センター	①令和4年度うきは市社会福祉法人連絡協議会の上半期活動について ②景観美化活動について ③フードドライブ・フードパントリー事業について
R5.3.23	うきは市総合福祉センター	①ふくおかライフレスキュー事業の実施状況について ②令和4年度うきは市社会福祉法人連絡協議会の活動経過について ③令和5年度うきは市社会福祉法人連絡協議会事業計画・予算(案)について ④令和5年度うきは市社会福祉法人連絡協議会役員について ⑤各法人からのお知らせ

【社会貢献プロジェクト委員会】

期 日	会 場	内 容
R4.6.2	うきは市総合福祉センター	①委員長・副委員長の選出について ②令和3年度事業報告、地域貢献活動の振り返りについて(意見交換) ③令和4年度事業計画、地域貢献活動の取り組みについて(意見交換) ④小委員会について
R5.2.27	うきは市総合福祉センター	①令和4年度事業経過について ②令和5年度の活動について

※令和4年度については、新型コロナウイルスの感染状況等を加味し「障がい者の休日、放課後等の居場所づくり」については、中止することが決まり、活動の中止に伴い小委員会の開催も中止となりました。

【社会貢献プロジェクト委員会小委員会】

①景観美化活動小委員会

期 日	会 場	内 容
R4.6.2	うきは市総合福祉センター	景観美化活動の実施について
R4.9.26	うきは市総合福祉センター	景観美化活動の実施について・役割分担について
R5.2.27	うきは市総合福祉センター	来年度の活動について

②障がい者の休日、放課後等の居場所づくり小委員会

※活動の中止に伴い、会議も中止となりました。

③研修小委員会

期 日	会 場	内 容
R4.6.2	うきは市総合福祉センター	社会福祉法人連絡協議会職員研修会について
R5.2.27	うきは市総合福祉センター	来年度の活動について

④フードパントリー小委員会

期 日	会 場	内 容
R4.6.2	うきは市総合福祉センター	フードドライブ・フードパントリー活動の実施について
R4.7.2	うきは市総合福祉センター	フードドライブ・フードパントリー活動の実施について
R4.11.2	うきは市総合福祉センター	フードドライブ・フードパントリー活動の実施について 役割分担について
R5.2.27	うきは市総合福祉センター	来年度の活動について

(2) うきは市社会福祉法人連絡協議会研修会等の協働実施

うきは市社会福祉法人連絡協議会 研修会

新型コロナウイルス感染防止のため、今年度の研修会は中止となりました。

### (3) 地域公益活動等の社会貢献活動の取り組み

社会貢献プロジェクト委員会等で検討しながら、地域公益活動等の取組みを以下のとおり行いました。

#### ①相談体制の充実について

社会福祉法人連絡協議会の各法人で相談支援窓口を設置し、各法人連携しながら相談支援体制を強化するもので、各法人の相談担当者、相談分野を一覧表に取りまとめたものを見直し、各法人の相談員が相談連携に活用しました。また、広報誌や福祉委員委嘱状交付式等の際に、連絡会の取組みを市民に周知し、活用推進を図りました。

#### ②生活困窮者への物品等の提供について

物品や衣類・フードストックについて、社会福祉法人連絡協議会でも協力をして、社協の活動と一緒に参加するものです。社協より必要な物品についての情報を各法人に提供し、各法人は職員・保護者会等に周知を図り、集まった提供品を生活困窮者等の支援を必要とする方へ配布する活動を実施しました。

#### うきは市社会福祉法人連絡協議会 フードドライブ・フードパントリー「Mochiyori」

市民等へ食糧品等の寄付を呼びかけ各法人の事業所で寄付受付を行い、集まった食糧品等については新型コロナウイルスの影響等で生活に苦慮されている方へ提供を行いました。

- ・物品受付期間（各法人他）令和4年11月15（火）～11月30日（水）
- ・物品仕分け作業 令和4年12月5日（月）うきは市総合福祉センター2階大会議室 参加者：17名
- ・申込者への配布 申込期間：令和4年11月21日（月）～12月2日（金）  
配布期間：令和4年12月12日（月）～12月17日（土）配布世帯数：38世帯（128名）

#### ③景観美化活動について

「クリーン大作戦！うきは!!」として、市内のJRの駅舎等の清掃等の景観美化活動を行っておりますが、活動に参加する各法人の職員およびボランティア等の新型コロナウイルス感染防止等のため、今年度は中止することとなりました。なお、花植え活動については、各法人の職員および関係者にご協力いただき、市内のJR各駅へ園児が作成した絵付きの花苗プランターを寄贈しました。

#### ④わくわく福祉出前講座（高齢者等の居場所作りの支援）について

保育、児童、障がい、高齢等の各分野で培った知識と人材を活用し、地域公益活動の取組みとして、地域福祉の増進を目的に「わくわく福祉出前講座」を開催しており、例年よりあいやつどの場等で活用いただいておりますが、今年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、よりあいやつどの場の開催を自粛する地域が多く、依頼はありませんでした。

#### ⑤障がい者の休日、放課後等の居場所づくりについて

施設利用者から、「平日は施設に行くのでいいが、休日は家でじっとしていることが多い。友達と遊ぶことも時にはあるが、休日楽しく過ごせる場所が欲しい。」という声から、障がい者の居場所づくりプロジェクトとして、レクリエーション活動やバスハイイク等を例年実施していますが、今年度については新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を中止しました。

#### ⑥地域行事等への参加

地域行事に各社会福祉法人から積極的に参加し、各法人が地区自治協議会等とつながり、地域に何かあれば社会福祉法人が協力できることを地域に伝えていく取り組みを行うこととしておりましたが、今年度につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加を中止しました。

#### ⑦ひきこもり等の職場体験の受け入れについて

ひきこもり等の職場体験の受け入れについて、各法人が受け入れ出来ることをリスト化しました。社協からは、ケースに応じて各社会福祉法人に相談し、受け入れを実施していくこととし、これまでに1件、職場体験を行った後、就労に結び付けました。

#### ⑧情報提供の充実について

各社会福祉法人の紹介や相談窓口の広報、協働での地域における公益的な取り組みを紹介するため、社協ホームページ内に、社会福祉法人連絡協議会ページを作成して周知を図りました。

### 5. 第4期うきは市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定

うきは市の地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定にあたり、住民の方の福祉観、地域福祉活動への参加状況などの実態把握や第3期の取り組みについて評価していただくと共に、住民の方々のご意見を広くお聞きし、計画へ反映していく事を目的に、福祉事務所福祉係、うきは市役所保健課と協働し、市内11地区にて「地区座談会」を実施しました。

また、地域福祉活動計画策定委員会を昨年度から引き続き実施し、令和3年度と今年度の2ヶ年で第4期計画を策定しました。

本計画は令和5年度～令和9年度を計画期間とし、すべての住民が住み慣れた地域で自分らしく生き生きと安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

#### (1) 地区座談会の実施

市内11地区において地区座談会を開催し、地域にお住まいの方々に以下の2つのテーマについて、広く意見をお聞きしました。なおグループワーク形式にて実施し、自由な雰囲気での意見交換できる方法をとりました。

テーマ① 5年後の自分たちが住む地域が、どのような地域になったら、もっと住みやすくなるか？

テーマ② 理想の地域に近づくために、「個人や地域でできること」、「行政や社協、その他の関係機関・団体、企業等と連携してできること」(解決策・改善策)

地区	開催日	参加者数
御幸	R4.6.23	37人
千年	R4.6.27	31人
田籠	R4.6.28	14人
福富	R4.6.30	36人
吉井	R4.7.1	35人
江南	R4.7.5	20人
山春	R4.7.6	32人
大石	R4.7.8	18人
新川	R4.7.13	14人
小塩	R4.7.22	14人
妹川	R4.7.22	14人
合計		265人

#### (2) 地域福祉計画審議会・地域福祉活動計画策定委員会

地域福祉計画審議会・地域福祉活動計画策定委員会を下記のとおり実施し、令和5年2月20日に地域福祉活動計画策定委員会の大熊孝則委員長より計画案の答申がなされ、令和5年3月に第4期地域福祉活動計画を策定しました。

開催日	会議	協議内容
R4.9.28	第3回審議会・策定委員会	・地区座談会の結果について ・計画の骨子案について
R4.11.28	第4回審議会・策定委員会	・計画案について
R4.12.23	第5回審議会・策定委員会	・計画案について ・パブリックコメントの実施について
R5.2.14	第6回審議会・策定委員会	・パブリックコメントの結果について ・計画の承認について

## II 地域福祉部門

### 《地域係》

#### 1. 委員会研究事業

国の推進する地域共生社会の実現に向けた取り組みに合わせ、必要に応じ特別委員会の中で専門的に研究協議を行うこととしていましたが、新型コロナウイルスの影響等もあり開催はありませんでした。

#### 2. 連絡調整事業

##### (1) 連絡調整

行政をはじめとする関係機関との連絡・調整のため次のような会議を行いました。

連絡調整対象	連絡調整方法	連絡調整事項
地区自治協議会（福祉部門）	自治協議会（福祉部門）連絡会	活動推進、活動内容、事業日程他
うきは市民生委員・児童委員協議会	定例会、代表委員会	活動内容、研修内容他
行政（福祉事務所福祉係）	行政・社協事務連絡調整会議	受託事業、地域福祉事業推進他
行政（保健課）	行政・社協事務連絡調整会議	受託事業、生活支援体制整備事業他
行政（福祉事務所保護係）	行政・社協事務連絡調整会議	生活困窮者自立支援事業
行政（福祉事務所子育て支援係）	行政・社協事務連絡調整会議	子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業
両筑管内社協（6市町村社協）	両筑地区社協連絡会	事業内容情報交換、課題解決他
県南地区社協（10市町）	県南地区社協連絡協議会	事業内容情報交換、課題解決他

##### (2) 委員会、会議等への参加

関係機関との連絡調整、事例検討、事業推進のため各種委員会、会議等へ参加しました。

委員会、会議等名称	主な内容	設置者（担当所管）
要保護児童対策地域協議会代表者会・実務者会議	要保護児童についての情報交換、検討	福祉事務所子育て支援係
地域子育て支援センター実務者会議	未就園児に係る支援	遊林ランド
ひとり暮らし高齢者等見守りネットワーク協議会	見守りネットワーク事業	保健課介護・高齢者支援係
うきは市自殺対策プロジェクト委員会	自殺対策の研究、防止啓発	福祉事務所福祉係
浮羽地域在宅医療連携拠点整備事業委員会	地域における在宅医療提供体制の検討	浮羽医師会
地域ケア会議	個別ケース検討、ネットワーク構築 地域課題の把握	保健課介護・高齢者支援係
うきは市居住支援協議会	住宅確保要配慮者に対する情報提供 関係機関連携	保健課介護・高齢者支援係
うきは市地域障害者協議会	地域の障害福祉に関するシステムづくり についての協議	福祉事務所福祉係
うきは市子育てネットワーク会議	小・中学校相談事例検討	うきは市教育センター
うきは市男女共同参画審議会	男女共同参画施策の実施状況の検討	男女共同参画推進室
うきは市地域福祉計画審議会	うきは市地域福祉計画の策定	福祉事務所福祉係

#### 3. ふれあいのまちづくり推進事業（市補助事業）

##### (1) 総合相談・援助

市民の皆さまの気軽な相談窓口として、各種相談窓口を開設しました。

###### ①心配ごと相談（常設相談）

相談開設：毎週水曜日 9:00～15:00 相談場所：第1・3週／吉井事務所 第2・4週／浮羽事務所

開設日数	45	
相談者	17	
相談経路	来所	12
	電話	5
相談件数	21	

【相談援助事項】

終了解決	8	
相談継続	1	
社協による援助実施	2	
弁護士相談紹介	3	
他機関組織への紹介	7	
内訳	民生委員児童委員	1
	福祉事務所	1
	その他行政機関	5

【相談事項の分類】

相談事項		件数	分類	内数
暮らし 住まい	生計問題	4	ローン問題	1
			サラ金問題	3
家族	住宅問題	8	転居	1
			夫婦関係	1
	親子関係		3	
	嫁姑関係		1	
	家庭不和		1	
健康・医療	健康・衛生問題	3	健康増進	2
	医療問題		医療費用	1
法律	財産問題	2	遺産分割	1
	事故問題		災害	1
福祉・教育	老人福祉問題	1	その他	1
その他	苦情問題	3	相隣関係の苦情	2
	その他		上記に属さない問題	1
合計				21

- ②弁護士無料法律相談（福岡県弁護士会 筑後部会との共催）  
 相談開設：年 12 回（毎月第 3 木曜日） 相談場所：偶数月／浮羽事務所、奇数月／吉井事務所

相談開設日数	12
相談来訪者	76
相談件数	88

【相談結果】

指導助言	85	
扶助協会への紹介	0	
弁護士紹介	3	
内訳	相談担当者直受	1
	継続相談	2
	相談担当者以外	0

相談事項				件数	分類	内数
一般民事 関係	不動産関係	22	所有権	1		
			登記	2		
			売買	2		
			賃借件	1		
			家屋明渡	4		
			建築工事	1		
			競売	1		
			境界	1		
			相隣	7		
			その他	2		
	債権関係	7	貸金	6		
			その他	1		
一般民事 関係	損害賠償	5	医療事故	1		
			その他	4		
	その他	10	倒産破産	3		
			保証関係	1		
			労働関係	1		
			その他	5		
	家事関係	43	離婚	7		
離婚以外の夫婦関係			3			
相続			26			
			親子	3		
			その他	4		
一般刑事	1	事件	1			
合計				88		

- ③司法書士相談（福岡県司法書士会 筑後支部との共催）  
 相談開設：年 12 回（毎月第 4 木曜日）  
 相談場所：偶数月／吉井事務所、奇数月／浮羽事務所

※社協は受付事務および部屋の貸出を実施

相談開設日数	12	相談事項	件数
相談来訪者	35	不動産登記関連	11
相談件数	35	相続関連	10
		借金関連	2
相談結果		裁判関連	3
指導助言	35	成年後見関連	1
相談継続	0	会社登記関連	0
		その他	8
		合計	35

④第三者委員苦情相談

相談開設：6回

相談場所：浮羽事務所 5/9、9/6、1/12 実施  
 ：吉井事務所 7/5、11/1、3/7 実施

	浮羽	吉井	合計
相談開設	3	3	6
相談来訪者	0	0	0

⑤障害年金相談（福岡県社会保険労務士会 県南支部との共催）

相談開設：試行実施 12/8、2/9

相談場所：吉井事務所

相談開設日数	2
相談来訪者	10
相談件数	10

相談会を開設する前に、関係者に対する障害年金講演会を実施しました。

実施日：令和4年8月24日（水）

会場：うきは市総合福祉センター 2階大会議室

参加者：20名

⑥相談員研修

相談員の資質向上を図るため、次の研修会を実施しました。

期日	会場	参加者	研修内容
R4.5.17	うきは市 総合福祉センター	16名	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談員委嘱状交付</li> <li>研修 「成人年齢引き下げに伴うメリット、デメリット及び危惧すべきこと」 「弁護士への相談の最近の動向について」 「相談を受ける際の心構えについて」 講師：弁護士法人 しらぬひ柳川事務所 弁護士 桑原 義浩 氏</li> </ul>
R4.10.25	久留米 シティプラザ	4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修 「相続・遺言の基礎知識」 講師：福岡県弁護士会筑後部会 弁護士 竹田 寛 氏</li> </ul>

(2) 地域生活支援事業

①地区自治協議会（福祉部門）連絡会

各地区自治協議会（福祉部門）の連携や情報交換を行うため、自治協議会（福祉部門）連絡会を開催しました。

【地区自治協議会（福祉部門）連絡会 検討内容】

回数	期日	検討・情報交換項目
第1回	R4.7.20	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区自治協議会（福祉部門）令和3年度事業報告について</li> <li>各地区自治協議会（福祉部門）令和4年度事業計画について</li> <li>福祉小座談会の開催状況及び推進について</li> <li>福祉会の設置状況及び推進について</li> </ul>

第2回	R4.10.27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区自治協議会（福祉部門）中間報告</li> <li>・歳末たすけあい活動について</li> <li>・福祉小座談会の開催状況及び推進について</li> <li>・福祉会の設置状況及び推進について</li> </ul>
-----	----------	--

## ②福祉委員活動

### ア. 福祉委員だよりの発行

福祉委員の活動内容や福祉委員から地域の高齢者に伝えて欲しい情報などをお伝えするために、5月から毎月1日に「福祉委員かわら版」を発行し、全福祉委員および各区長、民生委員児童委員に配付しました。

### イ. 福祉委員委嘱状交付式

各地区自治協議会と共催で福祉委員委嘱状交付式を行い、令和4年度は347名の方に委嘱しました。

## ③よりあい活動支援

活動報告書の提出があった以下のよりあい活動に対して、活動費の助成を行いました。

開催回数／68回 開催区数／18箇所

参加内訳：高齢者／681名 世話人／214名 その他／78名 参加者計／973名

※小塩地区については、旧行政区にて集計しています。

※なお、よりあい活動を実施していても助成の必要がなく、活動報告書を提出していない区もあります。

※よりあい活動は新型コロナウイルス感染症の拡大を懸念し、開催を控える区もありましたが、令和3年度に比べ再開される区も増えてきました。よりあい会の開催にあたっては、本会が作成したガイドラインに基づき、福祉委員への「密集・密閉・密接」を避けた会場作りへのアドバイスやよりあいコーディネーターへの遊具の消毒や密接回避等の徹底をお願いし、感染防止に努めました。

地区	開催区 / 行政区	高齢者	世話人	その他	参加者計	開催数
妹川校区	2/5	177名	89名	4名	270名	12回
新川地区	0/8	0名	0名	0名	0名	0回
田籠地区	0/1	0名	0名	0名	0名	0回
小塩校区	2/13	36名	3名	0名	39名	7回
山春校区	1/17	68名	10名	14名	92名	9回
大石校区	1/18	22名	4名	7名	33名	1回
御幸校区	3/28	83名	20名	0名	103名	4回
千年校区	6/20	198名	57名	48名	303名	26回
福富校区	2/15	20名	11名	3名	34名	3回
吉井校区	0/23	0名	0名	0名	0名	0回
江南校区	1/19	77名	20名	2名	99名	6回
計	18/167	681名	214名	78名	973名	68回

## ④地域生活支援活動の支援

うきは市全域・地区・行政区を活動範囲とした、地区自治協議会・行政区・ボランティア団体等が行う生活支援活動に対して、役員会・定例会等への参加等の活動支援および、運営支援を行いました。

### 支援団体

- 1) 住民型有償サービス 14区おたすけ隊（14区内における生活支援活動）
- 2) 住民型有償サービス おおいし絆クラブ（大石地区における生活支援活動）

## ⑤コロナ禍における新たな絆をつむぐ活動

- ・コロナ禍における地域福祉活動のガイドラインの発行

コロナ禍においても地域福祉活動を展開できるよう、感染予防の注意点などをまとめたガイドラインを令和2年度より作成しており、今年度も厚生労働省等の最新情報をもとに見直しを行い、福祉委員等に配布しました。

- ・感染予防に留意した訪問活動等の徹底

福祉委員へコロナ禍における訪問活動等の留意点をまとめたチラシ、相手と対面しない形でのやり取りとして活用できるポスティングカードの配布を行いました。



### (3) 住民参加による地域福祉事業

#### ① ボランティア活動の推進

##### ア. ボランティアセンター運営

ボランティアセンターでは、毎週月曜日～土曜日（日、祝は休み）の8：30～17：15にボランティア活動に係る様々な相談、依頼を受けて受給調整を行いました。また、月・水・金曜日の9：30～15：00は、ボランティアコーディネーターがボランティアセンターに常駐し、ボランティアに関する相談に応じました。なお、月1回ボランティアコーディネーター会議を開き、ボランティアに関する検討等を行いました。

##### 【ボランティアセンター相談受付状況】

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①活動希望	0	0	1	4	2	0	0	0	0	0	0	1	8
②ボランティア依頼	19	20	19	15	18	21	17	16	18	13	17	14	207
③情報収集	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3
④その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	20	20	20	21	20	21	17	16	18	13	17	16	219

##### イ. ボランティアニーズ需給調整

ボランティア活動依頼については、うきは市ボランティア連絡協議会加入団体や会員制互助組織（低額有償サービス）、ボランティアセンター登録団体への斡旋等を行いました。ボランティア活動相談については、希望に応じて個人や各機関と連絡調整しながら、ボランティア参加を促しました。

##### 【ボランティア活動依頼内訳】

内 容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外出・生活援助	通院・通所介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外出・旅行介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	移送ボランティア	19	19	15	15	18	20	17	16	18	13	17	12	199
	家事援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小修理	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
	理容・美容カット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
友愛訪問	保育・遊び相手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	話し相手・安否確認	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	イベント手伝い・出し物披露	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
技能提供	朗読・点訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手話・筆記通訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手話・点字指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他のボランティア	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
合計	19	20	19	15	18	21	17	16	18	13	17	14	207	

##### ウ. ボランティア保険加入促進

うきは市内でボランティア活動をおこなう方々に、安心してボランティア活動ができるように、ボランティア活動保険を紹介し、加入を促進しました。

【ボランティア保険加入者数 634名】

##### エ. ボランティア活動団体支援・助成

うきは市ボランティア連絡協議会には、複数のボランティア団体が登録していただいておりますが、それぞれの団体活動や運営が円滑に行われるよう、活動費の助成や活動支援を行いました（助成金額571,820円）。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、施設訪問の活動は自粛しましたが、ひとり暮らし高齢者宅への訪問活動や電話等、グループごとに工夫して活動しました。なお、総会は書面決議とし、役員研修は吉富町社会福祉協議会を訪問し「ピンシャシ教室」の取り組みについて学びました。会員のつどい

は白壁ホールにて「言葉と声で心と体が喜ぶ！ほめボイスコミュニケーション」をテーマに、藤重知子氏にご講話いただきました。

【うきは市ボランティアセンター登録・把握団体一覧表】

(令和5年3月31日現在)

団体名		会員数	活動内容
うきは市ボランティア連絡協議会	浮羽町日本赤十字看護奉仕団あいの会	52	高齢者（一人暮らし・老夫婦）とのふれあい食事会や手作り弁当の声かけ訪問配布、年未年始声かけ訪問等を行う
	音訳ボランティア 声のグループうさぎ	4	視覚障害者の方に市情報（広報うきは、社協だより、市議会だより等）や物語を録音し届ける
	小修理ボランティア	3	高齢者世帯や障害者世帯を主として、家屋等の小修理庭木の伐採を実施
	ハンディ移送サービスうきは	8	高齢者・障害者の病院等へ移送サービス（会員制）
	七施会	9	社協の福祉給食の配食活動、白鳥の家アルミ缶回収時運転
	ハッピーかい	18	福祉施設や市内のよりあいにて手のぬくもりと会話による癒しをお届けする
	音訳ボランティア ともしび会	6	視覚障害者の方に市情報（広報うきは、社協だより、市議会だより等）や物語を録音し届ける
	点筆の会	6	視覚障害者の方に暮らしに役立つ身近な情報を点訳し届ける
	かりん	17	よりあいの昼食づくり、一人暮らし高齢者交流会での調理協力
	夕月の会	9	一人暮らし交流会、施設訪問にて銭太鼓等を披露
ガイドヘルプボランティア	1	障害者の外出支援	
団体・グループ：11 会員数 133名			
把握団体	うきは市手話の会	16	聴覚障害者の社会コミュニケーション保障と通訳者の養成
	うきうき会(健康づくりボランティア)	18	公民館等において高齢者を対象に軽い体操を実施
	うきは市食生活改善推進会	46	地域における食生活改善普及の徹底と実践活動
	グループいろり	10	クリスマス時期にサンタクロースに扮し、子どもや高齢者にプレゼントを配布
	うきは図書館友の会	16	図書館行事の支援ボランティア
	幸せの会クローバー	4	現役在宅介護者の相談相手や、介護教室等のサポート
	螢火うきは	13	災害ボランティア、ホテル再生活動、被災者支援、防災教育
	防災ネットワーク 人のわ(輪)	4	防災啓発としての講演、計画支援、訓練支援等、発災時及び発災後の支援
団体・グループ：8 会員数 127名			
個人	運転ボランティア	28	社協の福祉給食の配食活動
	よりあいコーディネーター	22	市内でのよりあいで健康体操、手遊び、ゲームなどの指導支援
	個人登録ボランティア	17	ボランティアセンター個人登録者
個人：67名			
活動者合計 団体・グループ 19 (260名) 個人 67名			

オ. ボランティア活動資材の購入・貸出

様々なボランティア活動のニーズに対応するため、また、より良いボランティア活動を推進していくために必要な資材を購入し、貸出を行い、推進に努めました。

カ. よりあいコーディネーター派遣事業

よりあい開催区から指導依頼のあった場合、よりあいコーディネーターに依頼して、派遣指導を実施していただきました（よりあいコーディネーター登録者：個人 22名 団体 2団体）。令和3年度に比べ、よりあいを再開する区も増えてきましたので、それに伴いよりあいコーディネーターの派遣も多くなりました。

【ボランティア派遣実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人	4	5	4	4	0	0	8	4	4	3	8	5	49
団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

キ. ボランティア講習会・研修会の開催

現在ボランティア活動をされている方を対象に、ボランティア講習会を開催しました。また、ボラ連に加入しているボランティアグループの研修開催の支援も行いました。

開催日	会場	参加者数	内容
R4.8.4	総合福祉センター	17名	運転ボランティア安全運転講習会（講話：うきは警察署）

ク. ボランティア研修・つどい等への参加

ボランティアの資質向上を図り、他市町村ボランティアとの連携強化の為、例年ふくおかきずなフェスティバルに参加していましたが、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加を見送りました。

(4) 災害緊急支援活動

①災害ボランティアセンターマニュアルの随時見直し

緊急・災害対策検討委員会を設置し、災害ボランティアセンターの運営に関するマニュアル等の検討を行いました。

回数	期日	内容
第1回	R4.5.24	・災害ボランティアセンター設置・運営訓練について ・災害ボランティアセンターマニュアルの見直しについて ・緊急・災害時対応マニュアルの見直しについて
第2回	R4.11.2	・災害ボランティア養成講座について ・両筑地区災害ボランティアセンター設置・運営訓練について ・災害ボランティアセンターマニュアルの見直しについて ・緊急・災害時対応マニュアルの見直しについて
第3回	R5.1.18	・両筑地区災害ボランティアセンター設置・運営訓練について ・災害ボランティアセンターマニュアルの見直しについて ・緊急・災害時対応マニュアルの見直しについて

②災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

うきは市災害ボランティアセンターに係るうきは市との協定に基づき、平時の取り組みとして、災害ボランティア設置運営訓練を実施しておりますが、今年度については、両筑地区（大刀洗町・小郡市・筑前町・うきは市・朝倉市・東峰村）の社協合同で実施しました。

期日	会場	参加者数	内容
R4.11.19	サンライズ 杷木	両筑地区社協職員 94名 ※内、うきは市社協職員 25名	「基礎から振り返る災害ボランティアセンターの役割」 講師 NPO法人 にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 氏

③災害ボランティア養成講座の開催

近年、全国各地で大規模災害が毎年のように発生しており、被災地の復興や被災者の生活再建を進めていくためには、多くのボランティアの力が必要となっています。また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響でボランティアの募集範囲を制限せざるを得ない状況下でも、円滑な災害支援を進めていけるよう、うきは市在住・在勤の方を対象に災害ボランティアの養成を目的に講座を実施しました。

回数	期 日	会 場	人数	内 容
第 1 回	R4.10.5	うきは市総合福祉センター 2階大会議室	36名	①災害ボランティアについて 講師 一般社団法人 螢火 代表 岩佐 憲一郎 氏 ②災害ボランティアセンターについて 講師 福岡県社会福祉協議会 地域福祉部 災害福祉支援センター 藤本 博昭 氏 ③平成 24 年九州北部豪雨災害における 災害ボランティアセンター設置運営について 報告 うきは市社会福祉協議会
第 2 回	R4.10.15	吉井体育センター体育館	32名	水害による浸水家屋の床下活動について 講師 一般社団法人 螢火

④災害支援ボランティア団体「螢火うきは」との連携・支援活動助成

大規模な災害が発生した際、被災地の復旧と被災者の生活再建に向けて、ボランティアによる円滑な災害支援を行えるよう、災害支援ボランティア団体「螢火うきは」と連携し、平時より意見交換や情報共有、活動費の助成や活動支援を行っています。(助成総額：180,000円)

⑤常設災害ボランティアセンターの設置

災害が発生した際、被災地への災害ボランティア活動が迅速に行えるよう、令和3年度より常設の災害ボランティアセンターを設置し、災害用資機材を保管しています。また、被災地の災害支援を行っているボランティア団体「螢火うきは」の活動拠点としても使用しています。

#### 4. 共同募金配分金事業

##### (1) 福祉教育に関する事業

###### ①福祉教育指定校連絡会

各学校での福祉教育活動の情報交換を行うため、福祉教育指定校連絡会を開催しました。3年ぶりの開催となり、コロナ禍での福祉教育について意見交換を行いました。

開催日：令和4年7月28日

会 場：うきは市総合福祉センター

参加者：市内小・中・高等学校（参加：出席7校 欠席3校）

###### ②福祉教育指定校助成

市内の全小中高等学校10校に対して、福祉教育指定校として福祉教育を推進するための活動支援及び助成金を交付しました。

※当初各学校ごとに計画を立てていましたが、新型コロナウイルス感染拡大による事業の縮小等により、年度末に助成金の返還がありました。

学校名	年度当初助成額	年度末返金額	助成実績額
山春小学校	40,000円	0円	40,000円
大石小学校	70,000円	0円	70,000円
御幸小学校	70,000円	0円	70,000円
千年小学校	70,000円	26,604円	43,396円
吉井小学校	70,000円	0円	70,000円
福富小学校	70,000円	0円	70,000円
江南小学校	70,000円	0円	70,000円
浮羽中学校	70,000円	2,848円	67,152円
吉井中学校	30,000円	0円	30,000円
浮羽求真館高等学校	25,000円	832円	24,168円
合 計	585,000円	30,284円	554,716円

###### ③福祉体験学習の支援

学校からの依頼を受けて、児童を対象に福祉体験学習を実施。ゲストティーチャー等の斡旋を行いました。

体験学習を実施する際には、地域の方やボランティアにもご協力をいただきました。また、学校からの依頼で、福祉用具の貸出しを行いました。

・貸出物品：車椅子、白杖、松葉杖

実施日	学校名	内 容
R4.6.16	大石小4年生	身体障害について、車いす体験（当事者からのお話し）
R4.6.22		聴覚障害について、手話体験（当事者からのお話し）
R4.7.11	山春小5年生	視覚障害について、アイマスク・白杖体験（当事者からのお話し）
R4.9.30	福富小4年生	身体障害について（当事者からのお話し）
R4.10.4		聴覚障害について、手話体験（当事者からのお話し）
R4.10.5		視覚障害について、アイマスク・白杖体験（当事者からのお話し）
R4.12.6	御幸小4年生	聴覚障害について、手話体験（当事者からのお話し）
R4.12.7		視覚障害について、アイマスク・白杖体験（当事者からのお話し）
R4.12.12		身体障害について、車いす体験（当事者からのお話し、ふれあい）
R5.2.1	江南小4年生	視覚障害について（当事者からのお話し）

#### ④福祉教育教材の配布

福岡県社協が作成・発行している、福祉教育教材「ともに生きる」を市内全小学校の4年生および担当教諭に1冊ずつ配布しました。

・281冊（無償配布）

### （2）高齢者への支援

#### ①よりあい遊具無料貸出

各区でのよりあい活動等に対して、福祉レクリエーション遊具の無料貸出を行いました。

#### ②金婚祝福の会

結婚50周年を迎えられたうきは市内に居住するご夫婦を対象に、金婚祝福の会を開催しました。

今年度も会場を白壁ホールとし、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めました。

・開催日／令和4年10月14日（金） 会場／白壁ホール

該当者／39組 出席者／34組（67名）

#### ③老人クラブ連合会活動支援・助成

老人クラブ連合会について、担当職員を配置し、団体活動の側面的支援を行うほか、助成を行いました。また、コロナ禍ではありましたが、感染防止対策を行い研修会等も実施されました。

うきは市老人クラブ連合会	助成金額	助成内容
うきは市老人クラブ連合会	482,480円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単位老人クラブ新任会長研修会</li> <li>・グラウンドゴルフ大会</li> <li>・ペタンク大会</li> <li>・幹部研修会</li> <li>・高齢者相互支援リーダー研修会</li> <li>・広報誌作成</li> <li>・女性部視察研修</li> </ul>

#### ④高齢者安心カード作成（個人情報記載携帯カード）

概ね75歳以上の登録希望者の47名に、携帯用カードの作成と配布を行いました。例年、老人クラブ総会の際に高齢者安心カードについてお知らせし、取りまとめをお願いしていましたが、新型コロナウイルスの影響により、総会が中止となりました。そのため、「福祉のかかわり版6月号」で募集を行ったところ、家族や近所の方の声掛けにより、外出時のお守りとして作成を依頼された方がおられました。また、地域のつどいの場やよりあいでも説明を行い、申請いただきました。

### （3）児童・青少年福祉に関する支援

#### ①子育て支援団体助成

子育て支援に関わる団体に活動費および備品購入費の助成を行いました。

団体名	助成金額	活動内容
ウキままぱあく	26,746 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手形足形アート</li> <li>・アロマ講座ワークショップ</li> <li>・歯固めワークショップ</li> <li>・懇談会</li> <li>・ハロウィン撮影会</li> </ul>

②子ども用遊具貸出

子ども会や各子育て支援団体等に必要遊具の貸出を行いました。

③母子・父子福祉活動事業

令和5年度小学校に入学されるお子さんがいるひとり親世帯のうち、希望者に対して、新入学お祝いとして学用品（水彩道具セット）をお送りしました。（お祝い品配布者数：26名）

④母子寡婦福祉会活動支援・助成

うきは市母子寡婦福祉会について、担当職員を配置し、団体活動の側面的支援を行いました。

団体名	助成金額	活動内容
うきは市母子寡婦福祉会	46,580 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野球観戦</li> <li>・いちご狩り</li> <li>・うきは市母子寡婦福祉会チラシ配布（歳末支援品配布時）</li> </ul>

⑤子育て支援情報の提供

社協の広報誌「ふくしのかかわら版」にて、母子寡婦福祉会や子育て支援グループ、地域子育て支援センターの活動に関する情報提供を行いました。

⑥夏休みの福祉体験学習

夏休み期間を利用して、市内の児童を対象に福祉体験学習を行いました。今年度は3年ぶりの開催となりましたが、「防災」をテーマに新型コロナウイルス感染防止に努めながら実施しました。

- ・実施日：令和4年8月19日（金）
- ・参加者：26名（小学生12名、高校生ボランティア・教諭5名、螢火4名、県社協職員1名、スタッフ4名）
- ・内容：パラコードブレスレット作り、ツナ缶ランプ作り、調理袋炊飯、防災食試食、段ボールベッド作り、ロープワーク、地震体験、水消火器体験  
講師／一般社団法人 螢火（災害ボランティア）  
協力／浮羽消防署、消防防災センター

⑦育児用品リサイクル事業への協力

育児用品の寄贈の受付・保管・貸出については総合福祉センター2階子育て支援センター「子ども交流室」にて行い、点検と清掃は社協・ボランティアセンターにて実施しました。

⑧保護司会青少年弁論大会への支援・助成

うきは保護区保護司会主催の「うきは青少年弁論大会」への助成を行いました。（助成金額 40,000 円）

⑨「車に子どもが乗っています」ステッカーの配布

うきは市に生まれる子ども達を、地域の皆で支え・育てるという意識の醸成と赤い羽根共同募金の周知・協力の推進を目的に、本会にて作成したステッカー及び子育て等に関する相談窓口等を記載したチラシを、うきは市役所にご協力いただき、出生届提出時に市役所窓口にて配布しました。

- ・配布者数：165名（令和4年4月～令和5年3月出生者数）

⑩市内小学校新入学児童への黄色い傘配布

うきは市で育つ子ども達を交通事故等から守り、安全で楽しい学校生活を送るために地域の皆で支え・育てるという意識の醸成および赤い羽根共同募金の周知・協力の推進を目的に、共同募金会うきは市支会のオリジナルキャラクター「こころちゃん」とうきは市公式キャラクター「うきピー」をプリントしたオリジナルの黄色い傘および子育て等に関する相談窓口を記載したチラシを、うきは市教育委員会および各小学校にご協力いただき、配布しました。

- ・配布者数：208名（令和5年4月入学予定児童）

①小・中学校制服リサイクル事業への支援・助成

小・中学校の入学時や、子どもの成長に合わせた制服の買い替えには、多額の費用がかかるため、保護者の負担軽減を図ることを目的にうきは市内の小・中学校 PTA が行う制服のリサイクル事業に対し、クリーニングにかかる費用の助成を行いました。

団体名	助成金額	内訳
浮羽中学校 PTA	50,000 円	受領数：93 着 配布数：32 着
山春小学校 PTA	5,000 円	受領数：9 着 配布数：5 着
大石小学校 PTA	6,750 円	受領数：12 着 配布数：4 着
御幸小学校 PTA	27,750 円	受領数：48 着 配布数：39 着
千年小学校 PTA	11,250 円	受領数：17 着 配布数：9 着
合 計		100,750 円

(4) 障がい者・家族への支援

①障がい者団体活動支援・助成

障がい者（支援）団体について、担当職員を配置し、団体活動の相談にあたり、活動の助成を行いました。

団体名	助成金額	活動内容
うきは地区精神障害者家族会	100,000 円	・会員交流活動（2 回）
うきは市手話の会	40,000 円	・会員研修交流活動

②障がい者福祉情報の提供

ふくしのかかわら版にて、障がい者福祉サービスに関しての情報提供を行いました。また、うきは市地域障害者協議会にて作成を行った地域資源の情報誌「うきは市障がい者地域資源ガイド」を当事者及び支援者へ配布しました。

(5) 住民全般に関する事業

①地区自治協議会（福祉部門）・活動費助成

自治協議会（福祉部門）活動について、地区担当職員を配置し、活動支援、連絡調整などを行いました。

〔地区自治協議会（福祉部門）活動費算定基準〕

基本配分：各地区とも一律 70,000 円

区数配分：一行政区につき 3,500 円

世帯数配分：一世帯につき 175 円

高齢率配分：うきは市の高齢率 34.5%（R 3.4.1 現在）を基本値（100%）として、各地の高齢率比率を算出し、基本額 100,000 円から、その比率に応じて算出。

各地区自治協議会（福祉部門）に次の活動費を助成いたしました。

【各地区自治協議会助成実績】

妹 川	新 川	田 籠	小 塩	山 春	大 石	御 幸
84,740 円	94,871 円	59,926 円	3,462 円	184,502 円	76,816 円	205,244 円
千 年	吉 井	福 富	江 南	合 計		
233,260 円	337,310 円	30,000 円	89,521 円	1,399,652 円		

※上記金額には、過年度返還金を差し引いた金額を記載しております。

※活動費は各地区自治協議会（福祉部門）における、友愛訪問、福祉委員の研修など、それぞれの地区活動に活用されています。なお、地区福祉大会、地域住民向け研修会等を計画していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止等のため、中止となった地区もあります。

②社協だよりの発行

うきは市内の地域福祉活動や福祉サービスに関する情報、その他の地域生活課題に関する事などを、うきは市民の皆さまにお伝えするために、毎月 15 日に「ふくしのかかわら版」を発行し、全戸に配布しました。

③赤い羽根だよりの発行

赤い羽根共同募金および歳末たすけあい募金の協力実績や活動実績を市民の皆さんへお知らせするために、「赤い羽根だより」を3月15日に発行し、全戸に配布しました。(年1回)

④地域憩いの広場施設整備・補修の助成

地域憩いの広場施設整備・補修の助成をおこなっていますが、今年度は1カ所に助成を行いました。

・東の1～6区 東高見研修会館敷地内広場 すべり台、4連ブランコ補修 助成額 100,000円

⑤要支援・低所得世帯に対する無償野菜・お米等の配達訪問

JAにじ「耳納の里」ならびに農産物搬入者のご厚意により、過剰分の野菜を毎週月・水・金曜日にいただき、市内在住の支援が必要な世帯や生活困窮世帯などに安否確認を兼ねた訪問、配布を行いました。また、市民の皆様からご寄付いただいたお米もあわせて活用させていただきました。(区分の重複あり。実人員47名、2機関)

区 分	対象者	延べ回数	備 考
低所得世帯	22名	179回	
障がい世帯	17名	102回	
生保世帯	11名	185回	保護開始前、停止後の支援も実施
その他	2事業	13回	こころん、男女共同参画センター
合 計	52件	479回	

⑥要支援・低所得世帯に対する物品寄付

市民の皆様や各関係機関から寄贈していただいた物品を社協にて管理し、要支援・低所得により物品を購入する事が難しい方にお渡しし、利用していただいています。

物品寄贈数	10件	自転車…1件 テレビ…3件 IHコンロ…1件 掃除機…2件 炊飯器…1件 カセットコンロ…2件
物品配布数	3件	

⑦火災等災害被災者へのお見舞い

火災・水害の被害に遭われた市民の方に対し、見舞金を贈りました。

・件数：4世帯（総額：140,000円）

内訳) 火災 件数：2世帯（総額：100,000円）水害 件数：2世帯（総額：40,000円）

(6) 歳末たすけあい配分事業に関すること

①歳末見舞金

年末見舞金として次の方々に取り次ぎしました。(事業総額：2,275,000円)

援護の必要な世帯	23世帯	915,000円	事故・病気・災害遺児	1名	20,000円
長期在宅療養・認知症の方	13名	260,000円	両親の扶養のない児童	4名	80,000円
在宅重度障がい者(児)	50名	1,000,000円			



②年末年始援助活動

年末年始援助活動費として次の事業に助成金を交付しました。(事業費総額：1,346,040円)

①一人暮らし高齢者等見守り訪問活動 551,649円 見守りの必要な世帯へのカレンダー配布(653世帯)	⑤自治協議会(福祉部門)年末年始援助活動事業 610,523円 各地区自治協議会(福祉部門)による年末年始援助活動
②施設地域交流事業 43,127円 障害者支援施設希望が丘 「お正月飾り配布事業」「年賀状配布事業」 浮羽学園 「クリスマス交流会」	⑥交流活動事業 11,000円 うきは市手話の会による交流会活動
③干支飾り配布事業 14,883円 吉井幼稚園による干支飾り配布事業(377世帯)	⑦郵便料・配分金振込手数料 7,116円
④子育て支援事業 107,742円 大石・御幸・千年・吉井・福富・江南学童保育所 利用児の年末年始交流事業	

③歳末支援品

ひとり親家庭や生活困窮世帯を対象に、歳末支援品をお渡ししました。(事業総額：752,149円)

①子育て「食」応援セット 603,909円 コロナ禍で生活に負担が増える中、ひとり親家庭への支援を目的に、希望される世帯に対し、食品のセットをお渡ししました。併せて、ご寄付いただいたお米や生理用品も配布しました。(配布世帯111世帯)
②生活困窮世帯への歳末支援品 148,240円 市内の生活困窮世帯を対象に、歳末見舞品として、お米や蕎麦、お餅を配布しました。(配布世帯32世帯)

④うきは市ふくし川柳コンテスト

市民への福祉啓発を目的に、心が温まり、少しでも明るい気持ちになるような、「ふくし川柳」を令和4年5月から6月にかけて募集しました。たくさんの作品をご応募いただき、集まった作品の中から、本会で選考し、12作品が入賞しました。入賞した作品は、本会作成の2023年版カレンダーとふくしのかかわら版の各月に掲載させていただきました。(事業総額：18,136円)

5. 我が事・丸ごとの地域づくり推進事業(市受託事業)

少子高齢化・人口減少の進行、家族形態の変化、地域社会の変容等により、福祉に対するニーズが多様化・複雑化しています。このような中、年齢や性別、障がいの有無を問わず、住み慣れた地域で自分らしい生活が出来る地域共生社会の実現が求められています。

うきは市では、「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業を実施し、地域生活課題を住民が我が事としてとらえ、主体的に解決を図ることができる地域づくりを進めています。住民が抱える困難な課題を丸ごと受け止め、多様な関係機関と協働し、包括的な支援を行いました。

なお、本事業は重層的支援体制整備事業の移行準備事業として取り組み、属性や世代を問わない相談支援やアウトリーチを通じた継続的支援、社会とのつながりを回復するための参加支援事業等を推進しています。

(1) 福祉小座談会の実施

行政区の役員(区長、分館長、福祉委員、民生委員等)の皆さまと地域での悩みごと、困りごとを持っておられる方の支援について、一緒に話し合いを行う福祉小座談会を開催しました。新型コロナウイルスの影響により開催を自粛された行政区もあります。(※参考 令和3年度実施区：52行政区)

地区	開催区/行政区	実施区名
山 春	8 / 17	吉広区/上組区/荒瀬区/畑中区/保木区/三春原区/西長瀬区/古賀区
大 石	10 / 18	東の四区/東の五区/東の六区/西の一区/西の二区/西の三区/西の四区 古川村区/糸丸区/中鶴区
御 幸	14 / 28	中町区/宮本区/西町区/千足三丁目区/千足新町区/旭町区/朝田原区/小坂区 上流川区/下流川区/東浮羽区/御幸通区/千足五丁目区/浮羽区
千 年	2 / 20	日の岡区/能楽区
福 富	7 / 15	東屋部区/西屋部区/東延寿寺区/西延寿寺区/安富区/東屋形区/西福益区
江 南	9 / 19	金本区/新治団地区/中島区/庄園区/夏梅沖鶴区/今竹区/上菅区/清宗区 今泉区
		合計 50行政区

## (2) 福祉会設置推進及び研修会

福祉会役員及び各地区自治協議会（福祉部門）役員等を対象に、福祉会研修会を開催しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大から3年目となり、コロナ禍で継続されてきた取り組みや新たに始まった取り組みについて振り返り、地域づくりでの活動やつながりの大切さ、コロナ禍での活動のヒントについて学ぶことを目的に実施しました。活動報告では、宮田区のよりあい活動と田籠地区の田籠がんばるカードについて各代表者から報告をいただきました。活動報告を行った後、「with コロナでのこれからの地域づくり」について、九州大谷短期大学福祉学科の中村秀一先生をお迎えし、講演を行いました。

参加者からは、「他の地域の活動も知りたい」「共生社会の重要性を再認識できた」などの意見もあり、研修会を通してつながり合うことの大切さを共有できた研修となりました。

今後も、地区自治協議会（福祉部門）等と連携して、福祉会の設置推進と活動支援を行っていきます。

### 【令和4年度福祉会研修】

期日：令和4年12月14日（水） 参加者：36名

内容：「with コロナですすめている活動とこれからの地域づくり」

#### 活動報告

##### ①「宮田区のよりあい活動について」

宮田区福祉委員 安元 文子 氏

宮田区よりあい協力者 森下 三重子 氏

##### ②「コロナに負けない！田籠がんばるカード」

田籠地区自治協議会 福祉部長 平川 美紀子 氏

福祉部協力員 平川 義子 氏

講演：「with コロナでのこれからの地域づくり」

講師 九州大谷短期大学福祉学科 教授 中村 秀一 氏

## (3) 福祉会活動支援・助成

うきは市内に30福祉会（40行政区）がありますが、助成要望書の提出があった21福祉会について、助成を行いました。

地区	福祉会名	設立年度	地区	福祉会名	設立年度
大石	古川村区福祉会	平成12年度	大石	古川町福祉会	平成17年度
山春	保木区福祉会	平成12年度	山春	川籠石区福祉会	平成18年度
山春	袋野区福祉会	平成12年度	御幸	朝田原区福祉会	平成20年度
山春	西長瀬区福祉会	平成12年度	御幸	中町区福祉会	平成20年度
山春	荒瀬・畑中区福祉会	平成12年度	御幸	御幸通区福祉会	平成20年度
御幸	川原町区福祉会	平成13年度	御幸	浮羽区福祉会	平成21年度
妹川	檉ヶ平区福祉会	平成13年度	大石	西高見（西の1・2・3・5）福祉会	平成21年度
御幸	旭町区福祉会	平成13年度	大石	西の4区福祉会	平成22年度
山春	三春原区福祉会	平成14年度	山春	吉広区福祉会	平成24年度
大石	東の6区福祉会	平成15年度	山春	上組区福祉会	平成24年度
大石	中鶴区福祉会	平成15年度	山春	下組区福祉会	平成24年度
大石	糸丸区福祉会	平成15年度	江南	庄園区福祉会	平成26年度
山春	大野原区福祉会	平成16年度	江南	今泉区福祉会	平成27年度
大石	東の4・5区福祉会	平成17年度	山春	原口区福祉会	平成28年度
大石	東の1・2・3区福祉会	平成17年度	江南	今竹区福祉会	平成28年度

助成金については、基本助成として10,000円を、活動応分助成として実績を精査の上で追加助成します。また、よりあい開催費については、別途よりあい活動助成をおこなっておりますので、福祉会活動助成には含まれません。

なお、大野原区福祉会、荒瀬・畑中区福祉会、袋野区福祉会、西長瀬区福祉会、東の6区福祉会、西高見福祉会、中鶴区福祉会、朝田原区福祉会、庄園区福祉会については、助成要望書の提出がありませんでした。

#### (4) 「生活・福祉まるごと相談」窓口の開設および相談支援

社会福祉協議会の吉井・浮羽事務所に「生活・福祉丸ごと相談」の窓口を設置し、相談支援を行うほか、関係機関等と連携し、相談者の課題解決に向け、複雑化・複合化した課題を整理した上で継続的な支援を行うアウトリーチ、社会とのつながりの構築に向けて必要な支援を行う参加支援等の各種支援を行いました。相談内容としては、生活に関することが一番多く、「どこに相談していいかわからない」「こんなことを相談していいのだろうか」と誰にも相談できずに困りごとを抱えている方が多い傾向にあるようです。今後も生活上の様々な課題を受け止め、解決に向けた支援を行います。

##### 【生活・福祉丸ごと相談対応件数】

相談者（延べ件数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本人	8	5	8	2	1	4	5	1	3	6	17	8	68
家族	2	2	4	3	1	1	2	2	2	3	2	2	26
地域の関係者	1	2	0	0	0	0	2	0	5	0	2	12	24
専門機関	4	1	3	0	4	1	3	2	3	5	7	0	33
その他	0	0	1	0	0	1	3	1	0	7	0	2	15
合計	15	10	16	5	6	7	15	6	13	21	28	24	166

※相談に複数の関係者が同席している場合があり、それぞれ1人としてカウントしている。

相談内容（延べ件数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者に関すること	5	4	9	2	2	3	10	4	5	9	15	5	73
障がい者に関すること	0	0	3	0	0	2	0	3	4	1	7	0	20
子どもに関すること	0	1	2	1	0	1	0	0	0	0	7	2	14
生活困窮に関すること	9	5	10	2	4	4	4	3	4	2	18	12	77
住まいに関すること	1	1	6	0	1	1	1	0	0	4	3	13	31
生活に関すること	15	10	15	3	6	7	14	6	11	20	26	18	151
その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	30	21	45	9	13	18	29	16	24	36	76	50	367

※1件の相談で相談内容が複数あったものはそれぞれカウントしている。

対応件数（延べ件数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2	4	2	16
面接	7	5	6	3	1	3	6	2	2	4	6	7	52
電話	2	2	6	1	1	2	3	1	4	8	11	4	45
手紙	1	1	1	1	0	1	1	1	0	0	1	0	8
メール（SNS等含む）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
同行支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関係機関との調整	5	2	3	0	4	1	4	2	4	6	5	5	41
その他	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	4
合計	16	11	17	6	6	9	16	7	11	20	29	18	166

※1件の相談で対応件数が複数あったものはそれぞれカウントしている。

支援内訳	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続
アウトリーチ	4	9	4	6	3	9	2	1	2	4	1	3	5	8
参加支援	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	3	0	1	0
合計	5	10	4	6	7	9	4	1	2	4	4	3	6	8

支援内訳	11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続
アウトリーチ	1	5	4	7	2	8	5	16	1	15	34	91
参加支援	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1
その他	0	0	0	0	4	5	3	2	2	0	19	7
合計	1	5	4	7	7	13	8	18	3	15	55	99

アウトリーチ：複雑化・複合化した課題を抱えた方、本人の主訴が明確ではなく課題の整理が必要な方に対し、継続的な支援を行った件数

参加支援：社会とのつながりの構築に向けて、必要な支援を行った件数（参加支援を行うにあたって本人の同意を得たものを計上）

その他：相談のみで対応し、終結もしくは他機関につないだ件数

#### （5）民生委員・福祉委員懇談会への助成

地域における福祉活動の推進役である民生委員と福祉委員の協働による福祉活動の推進を図るため、情報共有や、相互の連携を目的とした地区懇談会の開催に対して助成を行いました。

助成実施行政区：20 行政区（吉井：6 行政区 浮羽：14 行政区）

参加者：53 名（民生委員・福祉委員・区長・分館長・ボランティア等）

#### 6. たすけあい献血推進事業

うきは市が実施する年頭献血の日程や会場等を本会広報誌に掲載し、市民の皆さまへ広報啓発を行いました。

#### 7. 移送サービス支援事業（市補助事業）

会員制の移送支援グループ「ハンディ移送サービスうきは」に、社協公用車を貸与し、移送サービスの支援を実施しました。通院の送迎が主ですが、通院の帰りに買い物へ行く場合もあります。送迎用の車輛は、軽シートアップ車、軽車イス対応車から選択することができます。どの車輛も車椅子を折りたたんで運ぶことができますが、軽車イス対応車については、車椅子に乗ったままの移送が可能です。なお、今年度も利用にあたっては、運転者、利用者双方に新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、運行しました。（利用無料、活動協力費を社協助成 / 助成額 231,750 円）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	11	10	12	7	12	9	10	10	10	8	7	7	113
内 訳	独居高齢者	9	9	10	6	12	7	9	9	10	8	7	102
	高齢者世帯	2	1	2	1	0	2	1	1	0	0	0	11
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	身体障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	視覚障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	難病・虚弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
移送件数	18	15	20	11	18	14	15	15	14	13	11	11	175
内 容	通院送迎	18	15	20	11	18	14	15	15	14	13	11	175
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用時間（時間）	45	41.5	48	27.5	47.5	37.5	38.5	37.5	37	36.5	31.5	35.5	463.5
走行距離（km）	373	309	383	209	320	309	308	323	264	309	229	350	3,686

## 8. 子育てママの健康美容体操教室（CO・OP 共済 地域ささえあい助成事業）

令和4年度より子育て中のお母さんの心と身体のリフレッシュ事業として、子育てママの健康美容体操教室を実施しました。実施にあたって、体操教室中の託児を子育て支援グループのウキまばあくの協力のもと行いました。

開催回数／8回 参加者数／49名（市内または近隣の乳児・幼児の保護者の方）

託児数／50名 託児支援者数／22名

## 《相談支援係》

### 1. 生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

生活困窮者自立支援事業では、働きたくても働けない、住むところがない等といった様々な相談をお受けし、一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作成し、専門の支援者が相談者に寄り添いながら、他の専門機関と連携して、課題の解決に向けた支援を行いました。

この事業は、これまでの高齢者や障がい者といったカテゴリーごとの福祉制度と違い、失業者、多重債務者、ニート、ひきこもりなど、様々な方への支援や、複合的な課題を抱え、これまで制度の狭間に置かれてきた方々への支援を行う事業となっています。本会でも市の委託を受けて、自立相談支援事業、個別支援計画策定、就労準備支援事業、家計改善支援事業、子どもの学習・生活支援事業を実施しました。

#### （1）自立相談支援事業

生活困窮問題についての相談をお受けして、解決策を検討しました。相談内容は以下の通りで、非常に多岐にわたった内容となっています。コロナ禍という事で、昨年度と同様に相談件数は例年よりも増加しています。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談所開設日数【日】	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243
相談対応者数【名】	23	44	46	32	45	50	54	37	53	45	53	44	526
うち、保護受給者数【名】	0	0	1	4	3	4	3	2	2	3	3	1	26
相談対応総数（訪問含）	35	60	69	49	73	86	89	54	93	67	82	69	826
新規相談者数【名】	6	6	6	2	8	8	3	2	2	2	4	5	54

	内容
相談内容上位1位	生活困窮相談
相談内容上位2位	家庭・家族関係
相談内容上位3位	就労関係

### ①個別支援計画策定

生活困窮状態から脱却するために、本人の意思を尊重しながら自立支援に向けた計画を策定し、利用者はこのプランに基づいた就労準備支援や家計改善支援などを受けています。また、コロナ禍の影響を受けた世帯に対しても必要に応じて計画を策定し、継続的な支援を行っています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規個別支援計画策定件数【件】	2	3	4	1	2	4	1	0	0	1	2	0	20
うち保護受給者数【名】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
再プラン策定件数【件】	24	11	7	7	7	9	17	9	10	4	5	5	115
終結件数【件】	0	11	5	6	9	7	16	10	6	4	1	7	82
中断件数【件】	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	4
現実実施計画累計数	127	119	118	113	106	103	87	77	71	66	67	59	

### (2) 就労準備支援事業【内職シェアステーション Coccoconne (こここんね) 開設状況】

就労準備支援事業として、うきは市総合福祉センター内に内職シェアステーション Coccoconne を設置し、2種類の内職作業を提供しながら、就労に向けての訓練や他人とのコミュニケーションの訓練、また社会参加を促すようなグループ活動などを実施しました。また、内職受注先である長尾製麺株式会社のご好意により、袋詰めしたラーメン・そばを「自立ラーメン まえむき」「自立そば あとおし」としてパッケージをし、販売をさせていただきました。近年では、各自治協議会から見舞品等としてご購入いただいたり、市役所から戦没者慰霊式の記念品としてご購入いただいております。この販売収益が作業者の安定した収入と就労へのモチベーションへと繋がっています。

〔通所者工賃〕 R4.4月～R5.3月 一人平均 77,550円

〔内職受注先〕

事業所名	所在地	作業内容
株式会社 熊谷ゴム	久留米市田主丸	ゴム製品のバリ取り
長尾製麺 株式会社	うきは市吉井町	ラーメンの袋詰め

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数【日】	20	19	22	20	22	20	20	20	19	19	19	22	242
通所者数【名】	5	7	9	5	6	5	8	6	5	7	6	6	75
延べ人数【名】	85	60	69	78	96	87	84	81	77	71	71	77	936
うち保護受給者数【名】	1	1	4	2	3	3	4	2	2	3	3	3	31
うち保護受給者延べ人数【名】	20	19	28	30	46	38	51	53	34	39	52	64	474
平均利用【人／日】	4.3	3.2	3.1	3.9	4.4	4.4	4.2	4.1	4.1	3.7	3.7	3.5	3.9
受注事業所件数【件】	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	

### (3) 家計改善支援事業

家計改善支援事業では、家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、相談者が自ら家計管理できるように、相談支援、関係機関へのつなぎ等を行い、生活再生を支援しました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
家計に係る相談件数【名】	3	4	5	6	3	2	8	4	1	1	2	4	43
うち事業対象者数【名】	3	2	3	2	3	2	2	3	1	2	2	3	28
うち生保に繋いだ件数【名】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### (4) 子どもの学習・生活支援事業

生活困窮している世帯、ひとり親世帯等の中学生（登録 15 名）を対象とした学習・生活支援を、市内 2ヶ所で開催し、大学生ボランティアの協力も得ながら、学習機会の確保と学習習慣の定着及び居場所支援を行いました。また、フードバンク福岡や市内の協力企業のご協力により、必要な子ども達とその世帯へ食品等の提供も行いました。不登校や虐待（ネグレクト）や貧困課題を抱えた世帯に対しては、自宅訪問し、現状確認や相

談対応を行いました。

夏休みには、高校1年生から3年生の当事業卒業生を対象にOB会を行い、近況確認や相談等を受けながら、安定した高校生活が継続できるよう支援を行いました。

当事業においては、近隣大学である久留米大学や市内中学校、行政機関と連携し、幅広いネットワークの中で柔軟に子どもたちの状況を把握し、多面的な支援体制の構築を実施しています。

【対応人数】

	吉井町域	浮羽町域	合計
実人数	5名	10名	15名

※3年生7名、2年生5名、1年生3名

【利用者数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
吉井会場の開設日数	3	3	5	4	3	5	4	3	3	4	3	4	44
浮羽会場の開設日数	3	4	4	2	4	3	4	5	2	3	4	3	41
訪問支援日数	2	3	1	1	5	5	2	7	8	7	5	5	51
合計	8	10	10	7	12	13	10	15	13	14	12	12	136
(吉井)利用者数	2	3	5	5	3	5	4	4	4	4	3	4	46
(浮羽)利用者数	5	6	6	6	8	5	5	5	5	5	5	5	66
(高校生)利用者数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	7	9	12	11	11	10	9	9	9	9	8	9	113

【進路実績】

進 学 先	
福岡県立高等学校	4名合格・進学
福岡県私立高等学校	2名合格・進学
大分県私立高等学校	1名合格・進学
3年生7名全員が進学先決定	

2. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業（市受託事業））

うきは市より委託を受け、福祉サービス利用援助事業を実施し、利用者の日常生活の自立を支援しました。利用者の中には複合的な課題を抱えたケースもあり、金銭管理だけにとどまらず、生活全般の支援が必要な方も多く、関係機関と連携しながらよりきめの細かい対応が必要となっています。昨年度より、高額預貯金を有する利用者に関しては、貸金庫での保管サービスにつなげるなど、より安心してご利用いただけるよう保管体制を整えています。

【契約締結審査会】

回数	期日	会場	審査対象者数	出席者
第1回	R4.4.25	うきは市総合福祉センター	3名	委員7名

【相談経路】[利用者（契約者・試行利用者・状況観察者）実人員48名]

本人	2	親 族	5	民生委員・児童委員	4
区長・地域住民	1	医療機関	5	特別支援学校	1
入所施設	1	介護支援専門員	5	障害者相談支援事業所	10
旧浮羽町役場福祉係	1	うきは市福祉事務所保護係	8	うきは市保健課	2
うきは市税務課	2	保健福祉環境事務所	1	合計	48

【契約者数】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	高齢者	10	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	127
	身体障がい者	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	知的障がい者	22	23	23	23	23	23	23	23	23	23	22	22	272
	精神障がい者	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	47
	その他	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
試行利用契約		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
状況観察		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		42	43	43	43	43	43	43	43	42	41	41	42	509

【訪問・活動回数】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	高齢者	50	56	63	62	78	94	68	60	70	61	57	74	793
	身体障がい者	1	2	2	3	6	2	6	1	4	5	5	9	46
	知的障がい者	147	145	158	134	137	129	138	155	153	120	116	147	1,679
	精神障がい者	41	41	42	47	51	43	34	41	36	32	35	44	487
	その他	27	26	23	19	31	23	25	23	25	33	26	35	316
試行利用契約		17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	28
状況観察		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		283	270	288	265	303	291	271	280	288	251	239	320	3,349

【その他】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
その他権利擁護に関する相談	0	1	1	1	2	2	2	0	1	3	2	3	18
新規契約者	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
契約終了者	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2

認知症や障がいなどによって判断能力が低下した方の親族やその関係者などから、成年後見制度に関する問い合わせや家庭裁判所への申立て手続きに関する相談など、本サービス利用に結びつかないケースでも随時対応を行いました。例えば、令和4年度は家計の見直しが必要なケースでは家計改善支援事業につなぎ、生活困窮者自立支援事業とも連携をしながら相談対応を行いました。

契約事項	サービス内容
福祉サービス利用援助	福祉サービス利用についての相談、情報提供、利用料金支払い代行等
日常的金銭管理	公共料金等の支払い代行、預貯金の出し入れ支援等
書類等預かりサービス	日常的金銭管理に使用する預金通帳や印鑑、年金証書、契約書等の預かり
貸金庫保管サービス	社協が契約した金融機関の貸金庫を利用した定期通帳等の保管

【生活支援員の活動について】

地域住民の方の中から生活支援員を養成し、日常生活に必要な生活費等の受渡しのみならず、生活状況の確認や心配ごとの相談を受けるなど利用者に合わせた支援を行っています。令和4年度においては、4名の生活支援員にご協力いただきました。

<福祉サービス利用援助事業> ※生活支援員3名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動回数	6	8	7	10	7	5	8	8	7	7	7	8	88

<成年後見事業> ※生活支援員1名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動回数	2	2	2	1	3	2	2	2	2	2	2	2	24



### 3. 成年後見事業

成年後見事業では、本会が家庭裁判所より成年後見人を受任し、認知症高齢者や知的障がい者及び精神障がい者など、判断能力が不十分な方の財産管理や身上監護を行うことでその方の権利を擁護し、地域で安心して生活できるよう支援を行います。また、福祉サービス利用援助事業の利用者で、契約時より認知症などの症状が進行し、事業対象の枠を超えるようなケースについては、成年後見制度へ移行するなど適切な支援が継続できるよう努めています。被後見人のひとりもご高齢となり、体調の変化も出てきています。令和4年度は入院・手術の調整など、担当医や医療機関、入所施設等と協議を重ねながら対応を行いました。

#### (1) 法人後見審査会の開催

令和4年度は、市長申立てによる成年後見の申立て案件（福祉サービス利用援助事業利用者）があり、受任に関する審査を行うために法人後見審査会を開催しました。審査の結果、引き続き本会が法人後見人として支援していくことが望ましいとの総意をいただきました。

期 日	会 場	審査対象者	出席者
R5.3.6	うきは市総合福祉センター	1名	委員5名

※法人後見審査会の構成員・・・行政、医師、司法書士、民生委員等

#### (2) 法人後見受任状況

No.	性別	類型	症状	審判を受けた年	申立人	ご本人の居住	利用経緯等
1	女性	後見	知的障がい	H 28年度	市長	在宅→施設	福祉事務所福祉係
2	女性	後見	知的障がい	H 29年度	市長	在宅	福祉サービス利用援助事業利用者

#### (3) 市民後見推進事業（市受託事業）

令和4年度は、「長寿社会を生きる知恵」と題して成年後見制度、市民後見人普及・啓発講座を開催し、認知症などにより判断能力が低下したときに役立つ成年後見制度や、元気なうちに考えておきたい終活などについて地域住民に広く啓発し、推進を図りました。受講者の中には令和4年度より民生委員になられた方々も多く、「今後も開催してほしい」との感想を沢山いただきました。

た。

回 数	期 日	内 容	参加者
第1回	R5.1.18	「成年後見制度ってなに？～空き家問題・消費者被害～」 講師：岩城法律事務所 弁護士 岩城 和代氏	27名
第2回	R5.3.1	「終活を見据えた対策！相続と遺言、任意後見制度」 講師：岩城法律事務所 弁護士 岩城 和代氏	29名

〔会場：うきは市総合福祉センター〕

### 4. うきは市障害者相談支援センター（市受託事業）

障害者相談支援事業では、障がい者（児）のさまざまな相談に応じています。今年度もコロナ禍の影響により、相談内容が多岐にわたっており、健康面や医療・就労に関する相談等が増加傾向にあります。今後も関係機関との連携および内部連携を密に行い、様々な生活上の相談に対して利用者の方に寄り添った支援を継続していきます。

#### (1) 障害者相談支援事業

市からの受託事業として、障がい者（児）の様々な相談に応じると共に、障害者総合支援法に基づく福祉サービス利用に係る障害支援区分認定調査及び障害支援区分認定審査会へ参加しました。

【相談件数・相談内容】

		身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	関係機関	その他	合 計
相 談 方 法	電 話	114	564	617	2,527	417	4,239
	来 所	14	162	136	569	53	934
	訪 問	95	383	150	236	39	903
	メー ル	0	0	0	31	32	63
合 計		223	1,109	903	3,363	541	6,139

相談 内容 内訳	①福祉サービスの利用	120	286	231	1,304	262	2,203
	②障がいや病状の理解	8	192	81	429	69	779
	③健康・医療	10	211	104	385	41	751
	④不安の解消・情緒安定	13	56	202	95	22	388
	⑤保育・教育	0	3	7	66	28	104
	⑥家族関係・人間関係	12	51	58	181	34	336
	⑦家計・経済	3	83	82	248	27	443
	⑧生活技術	12	88	58	171	20	349
	⑨就労	13	83	34	212	21	363
	⑩社会参加・余暇活動	2	6	20	56	2	86
	⑪権利擁護	2	3	1	26	2	34
	⑫その他	28	47	25	190	13	303
	合 計	223	1,109	903	3,363	541	6,139

【 会 議 等 】

障害支援区分認定調査件数	85 件
障害支援区分認定審査会参加	11 回
地域障害者協議会 全体会参加	1 回
地域障害者協議会 事務局会議参加	6 回
地域障害者協議会 児童部会参加	6 回
地域障害者協議会 就労支援部会参加	2 回
地域障害者協議会 計画相談部会参加	4 回
地域障害者協議会 地域生活支援拠点会議参加	0 回

(2) 障害者社会参加促進事業

うきは市総合福祉センターにおいて、障がい者の交流・相談の拠点として障害者地域支援センター「ほっとスペースうきは」を運営しました。センターでの活動に際しては、利用者の皆さんに登録を頂き、利用いただいています。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の為、外出自粛などの呼びかけが続き、ほっとスペースうきはの利用者・見学者数は減少しています。しかし、感染状況をみて11月24日にほっとスペース交流会のバスハイクを開催することができ、13名が参加されました。

【ほっとスペースうきは利用実績】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数		8	11	7	8	8	7	9	16	7	6	6	8	101
内 訳	身体障がい者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	知的障がい者	3	3	1	2	4	2	2	8	1	1	2	2	31
	精神障がい者	1	5	1	2	0	1	1	4	2	1	1	2	21
	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	3	2	4	3	3	3	5	3	3	3	2	3	37
関係者・家族		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者延人数		88	51	61	77	87	73	77	94	77	76	71	88	920
内 訳	身体障がい者	19	2	2	19	16	18	16	19	19	18	16	22	186
	知的障がい者	31	10	11	9	23	14	12	26	17	15	18	14	200
	精神障がい者	1	1	1	2	0	1	2	6	2	1	2	9	28
	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	37	38	47	47	48	40	47	43	39	42	35	43	506
関係者・家族		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新規登録者		8	5	2	0	1	1	3	8	0	2	0	1	31

内 訳	身体障がい者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	知的障がい者	3	1	0	0	0	1	1	5	0	0	0	0	11
	精神障がい者	1	4	0	0	1	0	0	3	0	1	0	1	11
	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	3	0	2	0	0	0	2	0	0	1	0	0	8
	関係者・家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
見学者数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内 訳	身体障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	精神障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	関係者・家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### (3) 点字・声の広報等発行事業

市内の視覚障がい者の方へ、朗読ボランティア（声のグループうさぎ、朗読ボランティアともしび会）の協力により、広報うきは、ふくしのかわら版を定期的に、また必要に応じて身近な情報を音声データに録音し届けました。（利用者：4名）

また、市内の点字を利用している視覚障がい者の方へ、点訳ボランティア点筆の会の協力により、身近な情報を点訳し届けました。（利用者：6名）

### (4) 指定相談支援事業

障がい者（児）等からの相談に応じ、サービス事業所、施設、病院などの関係機関と連絡調整を行い、地域で安定した生活ができるような支援計画を作成しました。障がい者（児）の計画作成数は増加しており、今後も障がい者（児）が継続してサービスを利用していく中での満足度や新たな生活ニーズを分析・点検していきます。

#### ①指定特定相談支援事業（市指定）：サービス等利用計画の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成件数	8	1	4	5	6	2	6	4	7	1	5	3	52
モニタリング件数	13	7	9	7	5	6	14	5	12	9	4	5	96

#### ②障害児相談支援事業（市指定）：障がい児通所サービス利用計画の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成件数	1	0	1	1	2	1	0	2	2	2	1	1	14
モニタリング件数	3	1	2	0	0	1	0	0	1	2	2	0	12

#### ③指定一般相談支援事業（県指定／平成25年10月1日）：地域移行支援、地域定着支援の実施

・計画策定なし

## 5. 不登校・ひきこもり対策相談支援事業（市受託事業）

不登校の子どもたちやひきこもり状況にある方、また、その家族に対し、専門相談員が相談に応じると共に、本人の同意を得た上で訪問活動を行いました。また必要時、関係機関と情報共有等を行いながら包括的な支援を展開するなど、当事者の希望に応じた支援を行いました。

また、相談・交流スペースを設置し、フリースペースとして開放すると共に、専用相談ダイヤルの設置やメール・インターネットでの相談対応、家族会の開催等も積極的に展開しました。家族支援の観点から、「うきは市不登校・ひきこもりを考える会」と共催で家族会を開催し、延べ12回の開催、103名の参加がありました。市民向けセミナーについては、感染予防の観点から開催は見合わせました。

【支援実人数と相談・訪問支援件数】

	不登校	ひきこもり	合計
支援実人数	32	33	65
支援方法	不登校	ひきこもり	合計
相談支援（電話・メール・来所）／回	391	123	514
訪問支援（自宅訪問）／回	154	42	196
合計	545	165	710

【支援状況】

経過（不登校）	人数	経過（ひきこもり）	人数
進路決定	5	就労開始・継続	5
登校開始・継続	16	就労準備支援利用	3
就労開始・継続	1	ひきこもり気味	6
他機関に移管	1	完全ひきこもり	8
完全不登校	5	障害サービス利用	3
ひきこもりに移行	1	支援終結	8
転出	1		
支援終結	2		
合計	32	合計	33

【フリースペース利用状況・回数】

利用者	人数
不登校	16
ひきこもり	7

利用者	回数
不登校	28
ひきこもり	12
家族・関係機関	135

◆不登校・ひきこもりに関するセミナーの開催

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、今年度は未開催。

■家族会・当事者の会支援

①家族会「みつばちの会」の支援

毎月第3水曜日の19時から定例会を開催しました。参加者は毎月8名程度で、コーディネーターに長阿彌幹夫氏（教育文化研究所代表）をお迎えし、家族の視点で不登校・引きこもりについて考えました。

4年度は例年に比べ新規に参加されたご家族の方も多く、家族会の必要性が高まっています。

②当事者の会「Switch(スイッチ)」の支援

当事者の会（Switch：スイッチ）の活動については、当事者が就労したことに伴い、現在休止しています。

6. 子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業（市受託事業）

第2期うきは市子ども・子育て支援事業計画に基づき、経済的に困窮している世帯やひとり親世帯、生活保護、生活困窮世帯の子ども達への学習機会の確保や生活習慣の定着を目的に、包括的に支援する居場所として、うきは市子ども若者未来応援センターころんの運営を行いました。

ころんでは、家庭学習の課題（宿題）を毎回行うことで、学習習慣の定着化に取り組みとともに、集団遊びなどを通して、集団生活への適応力が習得できるように支援しました。

また、生活支援として、子ども達が自分でおにぎりを作るといった主体的に食事作りへ関わる活動や子ども達が体操服・ハンカチを洗濯する体験活動を実施し、家庭で活用できるような生活力を身につける活動を行いました。

今後も、子ども達に精神的に寄り添いながら、支援環境を整えるとともに、保護者からの相談をお受けしながら良好な関係を築き、それぞれの世帯でのお困りごとなどを伺い、学校・家庭と社会資源を繋ぎ、子どもの支援から世帯の一体的な支援へと結びつけています。

### (1) 利用者実数

利用者	実人数
小学1年生	2名
小学2年生	2名
小学3年生	5名
小学4年生	3名
小学5年生	1名
小学6年生	3名
中学生	4名
保護者	12名
合計	32名

### (2) 延べ開所日数・延べ参加人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数	20	19	22	18	21	19	
ころん延べ参加人数	85	106	152	133	134	140	
訪問・初回面談数	6	2	4	0	9	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
開所日数	20	20	20	19	19	22	239
ころん延べ参加人数	132	133	124	132	148	154	1,573
訪問・初回面談数	1	0	4	1	0	2	29

### (3) 相談対応・連携件数

対象者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保護者	75	92	97	82	89	84	83	92	87	80	97	107	1,065
支援関係者	26	19	21	10	8	13	11	9	18	14	20	21	190

### (4) 支援関係者との連携

うきは市子どもの未来応援地域ネットワーク事業 実務者会議 2回開催(令和4年5月20日、12月9日)

### (5) フードバンク支援

複数の市内事業所にご協力いただき、うきは市の子どもの食を支援するというあたたかい思いから、パン・ケーキ等の食品を不定期で提供いただいています。提供いただいた食品は子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業だけではなく、生活困窮者自立支援事業における学習・生活支援等にも活用しています。

福岡市で活動しているNPO法人フードバンク福岡と連携し、長期保存可能な食料・清涼飲料水・お菓子などを不定期で提供いただくことや、セブンイレブン・ジャパンから生活物品や食料品を提供いただくなど、市内外問わず幅広いフードバンクのネットワークと連携し、市内支援活動に活かしています。

## 7. 高齢者等住まい・生活支援事業(市受託事業)

### (1) 住まいと住まい方に関する相談

市の委託を受け、地域包括ケアシステムの基礎となる「住まい」と「住まい方」を支援する事業として、空き家を活用した住まいに関する相談支援の拠点「つどいの場かわはらさんち」(吉井町1097番地1)を週3日(月・水・金)開設、高齢者等の住み替えや住宅改修等の相談に応じました。平成27年度の事業開始からの住み替えに関する実相談者数は82件です。住み替えが困難な方の相談も、地元不動産業者のご協力により入居へつながりました。その他の相談としては、介護保険サービスに関する相談や、自宅の老朽化等、相談が多岐にわたっています。また、住み替え相談から派生した様々な生活課題の解決に向けて、関係機関と連携し対応しました。相談支援の他にも気軽に集える「つどいの場」を併設しているので、日頃のちょっとした心配ごとや体調の不安など様々な相談も増えています。

【住まいと住まい方に関する相談実績】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	内初回相談
電話相談	8	13	7	8	8	2	8	9	11	12	13	16	115	6
来所面談	7	5	16	11	14	10	10	12	10	6	7	12	120	3
訪問面談	0	0	1	2	0	0	2	0	1	4	2	1	13	0
文書での相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	15	18	24	21	22	12	20	21	22	22	22	29	248	9

【住まいと住まい方に関する相談対応実績】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
関係機関との調整	3	2	0	4	5	1	1	4	3	5	4	1	33
住まいの斡旋・マッチング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活支援サービスの調整等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入居後居住支援	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
合計	4	2	0	4	5	1	1	4	3	5	6	1	36

【住まいと住まい方に関する相談内容詳細】 ※1件の相談で2つの相談があれば2件でカウント

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
住み替えに関する相談	2	3	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	8
転宅費用等に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住宅改修に関する相談	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
その他	9	13	24	17	16	11	17	17	18	16	16	28	202
合計	11	16	24	17	17	11	19	17	19	17	16	28	212

※その他の主な相談

- ・心配ごとについて
- ・新型コロナワクチン予防接種について
- ・障がい者サービスについて
- ・移動販売について
- ・物忘れについて
- ・緊急通報装置について
- ・訪問買取業者について
- ・市の無料歯科検診について
- ・友達関係について
- ・自転車の運転について
- ・家族介護者交流会について
- ・詐欺電話防止対策付き電話の購入について
- ・かわはらさんちの利用について
- ・体調について
- ・介護について
- ・家族関係について
- ・携帯電話の使い方について

(2) つどいの場かわはらさんち

相談支援の拠点「つどいの場かわはらさんち」は、高齢者等のふれあい交流の場として開放しております。今年度も、新型コロナウイルスの影響により、行事開催を中止しましたが、感染防止対策を行った環境下で、利用者同士が声を掛けあい、DVDを活用した「うき8体操」の実施や、手芸を少人数で行う等、自主的な活動が生まれています。また、近隣のスーパー閉店により買い物に困難となった方が増えた為、6月に移動販売車の体験会を、かわはらさんち前の素盞鳴神社駐車場で行いました。かわはらさんちの利用者以外にも近所の方の参加があり賑わいました。7月からは、定期的（毎週月・水曜日）な移動販売が始まり大変好評となっています。コロナ禍でも人とのつながりを大切にしたい場となるよう努めています。

【かわはらさんち利用状況】

年齢層	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
75歳以上	48	38	52	48	87	62	89	91	74	60	79	107	835
65歳～74歳	1	1	7	0	0	0	0	0	0	3	0	2	14
15歳～64歳	9	2	11	3	1	0	0	2	0	21	0	25	74
15歳未満	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	13	15
合計	58	41	71	51	88	62	89	94	74	84	79	147	938

(3) 居住支援協議会への参画

うきは市では住宅確保要配慮者（低所得者、被災者、高齢者、障がい者、子どもを養育する家庭その他住宅確保に特に配慮を要する者）の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進を図ることを目的に、居住支援協議会を設置しています。3月に開催された居住支援協議会では、かわはらさんちに相談のあった事例を報告し、協議いただきました。今後も、高齢者等が住み慣れた地域で最後まで暮らしていけるよう、住まいを含めた生

活に関わる不安や課題を解決していくために、不動産事業所や関係機関とのネットワークを生かしながら、連携体制を継続し、住まいの支援を行っていきます。

## 8. 資金貸付事業

低所得世帯及び経済的な困窮者に対して資金貸付制度の運用を行い、安定した生活が送れるように支援しました。資金の貸付にあたっては、民生委員の協力を得るとともに、貸付調査委員会の意見・答申のもとに貸付を行いました。

### 【貸付調査委員会】

回数	期日	会場
第1回	R5.3.2	うきは市総合福祉センター

### 【初回相談件数】

相談内容	件数
生活費等	14件
教育費	8件
その他（問い合わせ）	8件
合計	30件

### (1) 生活福祉資金貸付事業（県社協より事務委託）

生活福祉資金貸付制度は、福岡県社会福祉協議会が主体となり、資金の種類ごとに貸付の要件、貸付限度額等それぞれの用途に応じた貸付を行っており、その相談窓口として申込等の受付を行っています。

#### 【貸付状況】

資金種類	令和4年度取扱い分	内令和4年度年度新規
総合支援資金	3件	0件
福祉資金	8件	0件
緊急小口資金	11件	0件
教育支援資金	71件	2件
合計	93件	2件

#### 【貸付決定額】

資金種類	決定額
総合支援資金	0円
福祉資金	0円
緊急小口資金	0円
教育支援資金	930,000円
合計	930,000円

### (2) 援護資金貸付事業

うきは市社協独自の貸付制度で、うきは市に居住される方が一時的に生活費などに困窮された場合に貸付を行いました。

#### 【援護資金貸付状況】

区分	年度当初償還残額	件数	年度内貸付	件数	年度内償還額	年度末償還残額	件数
令和4年度内貸付	0円	0件	150,000円	5件	150,000円	0円	0件
合計	0円	0件	150,000円	5件	150,000円	0円	0件

### (3) 育英奨学資金貸付事業

うきは市社協独自の育英奨学金として、低所得世帯の生徒に対し高等学校への修学資金を貸し付けを行っていましたが、国の制度や県など他の貸付制度も整備され、この貸付を利用されるケースが近年なくなりましたので、令和3年度からは借入の申込は休止しています。

#### 【育英奨学資金貸付状況】

区分	年度当初償還残額	件数	年度内償還額	件数	年度末償還残額	件数
貸付完了分	1,104,000円	5件	412,800円	5件	691,200円	2件
合計	1,104,000円	5件	412,800円	5件	691,200円	2件

### (4) 新型コロナウイルス特例貸付事業

令和2年3月10日に、「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策 第2弾」として実施された生活福祉資金貸付制度における特例貸付事業については、度重なる延長の末、令和4年9月30日をもって受付が終了されました。この間、本会におきましても、市民の皆様の相談にお応えできるよう、2人1組の体制で相談にあたってきました。

また、貸付受付終了後も、償還に関する相談をはじめ、引き続き困窮状態にある方に対して食糧支援や他の制度の紹介など、生活困窮者自立支援事業と連携し実施しました。

【令和4年度特例貸付件数】

区 分	貸付件数	貸付決定額
特例 緊急小口資金	17件	3,000,000円
特例 総合支援資金	14件	7,350,000円
合 計	31件	10,350,000円

【貸付相談件数】

延相談件数	件 数
	37件

【新型コロナウイルス特例貸付事業累計】（令和2年3月10日～令和4年9月30日）

区 分	貸付件数	貸付決定額
特例 緊急小口資金	88件	15,650,000円
特例 緊急小口資金	1件	100,000円
特例 総合支援資金	118件	64,950,000円
特例 総合支援資金（延長貸付）	31件	17,550,000円
特例 総合支援資金（再貸付）	12件	6,550,000円
合 計	250件	104,800,000円

【新型コロナウイルス特例貸付償還免除】

区 分	免除件数	免除決定額
特例 緊急小口資金	27件	4,750,000円
特例 総合支援資金	42件	24,150,000円
合 計	69件	28,900,000円

【新型コロナウイルス特例貸付償還猶予】

区 分	猶予件数	猶予額
特例 総合支援資金	4件	2,000,000円

(5) 生活困窮状態が続いている借受人世帯への相談支援業務（特例貸付債権管理事務）

令和4年10月から福岡県社会福祉協議会の委託事業として、新型コロナウイルス感染症の影響をふまえた生活福祉資金特例貸付の借受世帯において、引き続き生活困窮状態が続いている借受世帯への相談支援を実施しました。具体的には、借受世帯へ電話での状況確認、償還に関わる免除や猶予の情報提供及び手続き支援を行ったほか、必要に応じて本会が行っているフードバンク事業での支援や市など関係機関へ繋ぎました。

【相談支援状況】（令和4年10月～令和5年3月）

1. 相談受付・対応件数		2. 相談後の対応	
①来所	26	①貸付を含む社協の支援ツールで対応	24
②電話	99	②関係機関へつなぐ	3
③メール	0	③経過観察	91
④訪問	3	④その他	19
⑤その他	9	合 計	137
合 計	137		

3. 相談内容	
①お金・負債	29
②仕事	73
③病気・体調	16
④住まい	1
⑤家族・孤立	13
⑥その他	83
合 計	215

4. その他の主な内訳	
①償還免除に関すること	34
②償還猶予に関すること	5
合 計	39



### III 在宅福祉部門

在宅福祉部門では、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念される中、今年度も感染予防のため様々な対策を講じながら事業を実施して参りました。特に、うきは市デイサービスセンターとワークサポート白鳥の家では、外部ボランティアや見学の受入を制限し感染予防に努めて参りましたが、うきは市デイサービスセンターでは、複数の感染者（利用者及び職員）が発生したため、延6日間事業を中止し感染拡大防止に努めました。

訪問介護事業では、介護職員の確保が困難な状況が続く中、職員が減少していることから、多くの新規利用の相談を頂きましたが、サービスを提供することができませんでした。

こうした状況下にあつて、在宅福祉サービスあり方検討委員会を設置し、社協の在宅福祉サービスの方針を検討、出された答申に沿って、複数他社が事業を実施している通所介護事業から今年度末をもって撤退し、うきは市デイサービスセンターを閉所することとなりました。また、市内外でサービス提供事業所が不足している訪問介護事業においては、職員の異動等により事業を強化することとしました。

#### 1. 居宅計画支援係（うきは市ケアプランサービスセンター）

令和4年度の年間利用者数は、延べ人数で前年比、要介護者△90名、要支援者△20名となり、介護報酬は約10%の収入減となりました。

要介護者は、新規利用者25名に対して、死亡4名、入院23名、施設入所4名でした。入院者のうち9名が退院され、在宅福祉サービスを利用しながら在宅で過ごせています。

職員は感染症予防対策を徹底し、事業所と密に連携を図りながら、利用者やご家族の支援を行いました。

- 営業日：月～金曜日（但し、国民の休日、12/29～1/3を除く）
- サービス提供時間：8：30～17：15（但し、24時間連絡可能な体制を確保）
- 職員体制：介護支援専門員 2名

##### (1) 居宅介護支援事業：要介護認定者のケアプラン作成

【居宅サービス計画作成実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
作成件数	55	51	53	54	55	54	56	60	59	58	64	65	684	57.0

##### (2) 介護予防支援事業（浮羽地域包括支援センター受託事業）：要支援認定者の予防プラン作成

【介護予防サービス計画作成実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
作成件数	9	8	9	9	9	7	7	8	6	7	7	7	93	7.8

#### 2. 訪問介護支援係（うきは市ヘルパーステーション）

新型コロナウイルス感染症予防対策として、検温、手指消毒、マスク着用、除菌シートの常備等を行いました。

訪問介護に従事する職員の安定確保が難しく、サービス量の調整を余儀なくされ、新規利用者の受け入れが困難な状況が続きました。

- 営業日：年中無休（但し、12/31・1/1を除く）
- 営業時間：8：30～17：15
- サービス提供時間：7：00～21：00
- 職員体制：ホームヘルパー7名（内、介護福祉士5名）(R5.3.31現在)

【新規利用者】

- ・介護保険事業：要介護者7名、相当サービス利用者4名
- ・障害福祉サービス：居宅介護1名

##### (1) 介護保険事業

①訪問介護事業：要介護認定者へのヘルパー派遣

【訪問介護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	13	13	13	16	18	20	23	24	22	20	23	22	227	18.9
利用回数	143	136	136	157	160	190	197	205	190	175	174	173	2,036	169.7

②相当サービス事業：相当サービス認定者へのヘルパー派遣

【相当サービス事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	29	30	28	26	27	23	22	20	21	24	23	21	294	24.5
利用回数	174	178	166	153	165	134	122	125	134	141	117	128	1,737	144.8

③緩和型サービス事業：訪問型サービスA認定者へのヘルパー派遣

【訪問型サービスA事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	2	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	32	2.7
利用回数	6	4	7	12	15	12	13	13	12	13	12	14	133	11.1

(2) 障害福祉サービス事業

①居宅介護：障がい者へのヘルパー派遣

【障害者居宅介護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	11	11	12	11	11	11	10	10	10	10	9	10	126	10.5
利用回数	93	97	95	85	87	74	74	78	83	76	61	74	977	81.4

②同行援護：視覚障がい者のガイドヘルプ

【障害者同行援護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	13	1.1
利用回数	8	10	10	9	9	9	10	9	9	9	8	10	110	9.2

(3) 受託事業

①移動支援事業（市受託事業）

障がい者の外出支援（ガイドヘルプ）

【障害者移動支援事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	23	1.9
利用回数	6	5	6	4	6	6	7	6	5	5	7	6	69	5.8

②ひとり親家庭等日常生活支援事業（市受託事業）

今年度は利用実績なし。

③受託居宅介護事業（グループホーム「オリーブ」受託事業）

今年度は利用実績なし

3. 通所介護支援係（うきは市デイサービスセンター）

新型コロナウイルス感染予防のため、検温、手指消毒、マスク着用、利用者の間隔の確保などを徹底し対策に努めましたが、ご利用者および職員に感染者が発生し、令和4年8月10日（水）～8月19日（金）の間は事業休止とさせていただきます。

在宅福祉サービスあり方検討委員会の答申を受け、うきは市社会福祉協議会としては、うきは市デイサービスセンター事業を廃止することが決定されたため、令和5年1月以降で利用者の他事業所への移行調整を行い、令和5年3月末をもって、全ての利用者の他事業所への移行が完了しました。

営業日：通所介護・相当サービス事業：月～金曜日（但し、8/14.15、12/30～1/3を除く）

通所型サービスA：火・水・木曜日（但し、8/14.15、12/30～1/3を除く）

台風接近のため休館：9/6、9/19

新型コロナウイルス感染者発生のため事業中止：8/10～8/19の間（6日）

事業閉鎖移行期間に伴い、3月は利用者のない日を閉館したため、3月の開所日数は10日でした。

□サービス提供時間：通所介護事業 9：15～16：30（時間延長あり）

相当サービス事業・通所型サービスA 9：30～16：30

□1日の職員体制：職員7.7名（管理者、生活相談員、看護師、介護職員、機能訓練指導員）職員の兼務有

□調理：職員：調理員1.25名、献立：栄養士1名（兼務職員）※センター調理室で、昼食とおやつを提供

【新規利用者内訳】

・要介護者3名、相当サービス利用者0名、緩和型サービス利用者0名

#### (1) 通所介護事業

要介護認定者へ個別機能訓練、入浴介護等のサービスを実施し、要介護状態の進行防止に努めました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	29	27	27	27	26	24	24	25	24	21	17	3	274	22.8
利用回数	300	294	287	290	203	228	242	250	243	183	109	12	2,641	220.1

※昨年度合計利用者：405名 月平均利用者：33.8名（延べ）

#### (2) 相当サービス事業

【相当サービス事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	19	16	16	14	14	12	12	12	12	10	8	0	145	12.1
利用回数	123	111	102	91	57	77	82	83	75	59	23	0	883	73.6

※昨年度合計利用者：257名 月平均利用者：21.4名（延べ）

#### (3) 緩和型サービス事業（通所型サービスA）

【通所型サービスA事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	3	3	3	3	3	2	2	3	2	3	2	0	29	2.4
利用回数	10	10	15	12	6	9	7	14	6	9	5	0	103	8.6

※昨年度合計利用者：36名 月平均利用者：3.0名（延べ）

### 4. 障害者就労支援係（ワークサポート白鳥の家）

令和4年度は、就労移行支援事業にて訓練を行った利用者1名が、一般企業に就職することができました。安定した仕事を続けられるように、継続した支援を行っています。

また、就労定着支援事業では4名の利用者の就職先を訪問し、利用者の職場定着を図るため、本人に寄り添った支援を行っており、職場との連携を図りながら課題解決に努めています。

就労継続支援事業では、生産活動における訓練や相談を通じて、日常生活の支援を行っていますが、昨年度より利用者も増加し、各自の能力レベルに応じた作業訓練ができるよう、役割分担や作業方法の工夫を進めました。

ここ数年は、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点で、対外的な活動を制限していましたが、徐々に交流活動や視察の受け入れなどを再開しました。

□開所日 月～金曜日（但し、国民の休日、12/29～1/3を除く）

□開所時間 午前9時～午後4時

□職員体制 管理者1名、サービス管理責任者1名

生活支援員1名、職業指導員1名、就労支援員1名（就労移行支援事業）

生活支援員1名、職業指導員3名、目標工賃達成指導員1名（就労継続支援事業B型）

就労定着支援員1名（就労定着支援事業）

#### (1) 就労移行支援事業

□定員：6名

□主な訓練・活動（作業）内容：

- ・就労に必要な知識、能力を向上させるために必要な訓練（面接訓練、履歴書作成訓練）
- ・生産活動（下請け作業、名刺作成等）
- ・職場見学・職場実習・トライアル雇用の支援

(実習先、雇用先の開拓と訪問、公共交通機関を利用した通勤訓練)

- ・求職活動支援 (ハローワークへの登録・求人検索)
- ・職場定着支援 (就職した利用者の職場訪問、相談対応)

【主な訓練、作業内容】

訓練・作業名	訓練・作業内容
業者下請け作業	ピッキング作業 (杉工場) / 袋詰め作業 (Kimmy)
印刷作業	名刺印刷
自主製品	クラフトかご、入浴剤
喫茶あひるの子	コーヒー等飲み物、スープ、パンの販売、接客等

【職場実習実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実習者数	1	1	0	0	0	3	3	3	1	0	0	0	12
実習日数	20	22	0	0	0	10	10	4	5	0	0	0	71

実習受入事業所：(株)ファーストダウン、うきは市総合福祉センター、ニュー筑水荘

【就労実績】令和4年度就労者1名 ニュー筑水荘

(過去累計26名※就労継続支援A型事業所就職を除く)

(2) 就労継続支援事業B型

定員：22名

主な訓練・活動(作業)内容：

- ・日常生活に必要な知識、能力を向上させるための訓練 (生活習慣、清潔保持)
- ・就労の機会の提供及び生産活動
- ・生活相談

【主な訓練、作業内容】

訓練・作業	訓練・作業内容
アルミ回収作業	ボランティアの方と一緒に回収、市民の方の提供品整理
自主製品の製作販売	牛乳パック再生椅子、小物作り (マスク、刺し子・腕カバー)
スワンショップ	日用雑貨品の販売…(株)飛鳥産業、地域の方からの寄付物品を整理し販売
業者下請け作業	農産加工品袋・箱詰め (JA にじ農産加工センター)、ミニトマトの計量・パック詰め (アップルファーム)
パンの家スワンベーカリー	パンの製造販売、喫茶ルーム接客
喫茶あひるの子	コーヒー等飲み物、パンの販売、接客

工賃実績：一人当たりの月額平均工賃 31,542円 ※県指定計算式による

(令和3年度福岡県工賃平均額 14,691円 (県)、16,507円 (国))

(3) 就労定着支援事業

定員：15名

主な支援内容：

- ・職場訪問による就労態度・職場状況の確認
- ・職場支援担当者と本人の意思疎通を図るための調整
- ・生活安定のための家庭訪問および助言
- ・本人および職場からの相談対応
- ・利用者間の交流を図るための取り組み (交流活動等)
- ・職場休業日の居場所支援 (白鳥の家での受け入れ)

#### (4) ワークサポート白鳥の家の主な行事

期 日	内 容	期 日	内 容
R4.4.27	視察受入（大善寺地区民生委員会）	R4..10.31	道の駅うきはかかし見学
R4.4.28	タケノコ掘り（國武庵）	R4.11.1	ベーカリー屋根工事
R4.5.1	いちご狩り	R4.11.11	日帰り研修（大分方面）
R4.5.2	ホイロ修理工事	R4.11.25	健康診断
R4.5.23	みずうみの会 （石鯰、ゴキブリ団子作り）	R4.11.28	避難訓練（垂直避難訓練）
		R4.11.29	視察受入（東・西村いきいきサロン）
R4.6.13	収支報告会／業者清掃	R4.12.4	人権フェスティバル出店
R4.6.27	健康診断	R4.12.11	卒業生のつどい
R4.6.27～7.8	就労移行実習受入れ（1名）	R4.12.15	道の駅うきはかかしコンクール表彰式
		R4.12.19	収支報告会
R4.8.1	避難訓練	R5.1.4	仕事始め（三社参り、新年会）
R4.8.12	お楽しみレクリエーション （総合福祉センター）	R5.1.23	あいの会食事会
		R5.2.6～2.10	就労アセスメント受入（1名）
R4.8.24	視察受入（わかたけ福祉会）	R5.1.23	あいの会食事会
R4.9.8	ベーカリー屋根工事	R5.2.19	休日ショップ
R4.9.20	消防設備点検	R5.2.20～ R5.2.22	就労継続B型体験受入れ（1名）
R4.10.6	赤い羽根共同募金街頭募金		
R4.11.24	視察受入（東国分いきいきサロン）	R5.3.5	休日ショップ
R4.10.31～ 11.10	就労移行実習受入れ（1名） 就労継続B型実習受入れ（2名）	R5.3.15	お楽しみ会
		R5.3.28	視察受入（東国分元気クラブ）

#### (5) ワークサポート白鳥の家事業実績

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
就労 移行	利用者数	4	4	3	3	3	3	3	3	3	2	3	1	35	2.9
	利用回数	80	78	65	45	60	57	59	59	54	36	42	22	657	54.8
就労 継続	利用者数	19	19	19	19	19	19	18	18	17	17	18	20	222	18.5
	利用回数	320	292	346	292	319	298	293	283	259	261	294	390	3,647	303.9
就労 定着	利用者数	5	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	48	4.0
	利用回数	5	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	48	4.0

### 5. 制度補足サービス

介護保険制度など法定事業の範囲では対応できないサービスについて、利用者や家族、介護支援専門員等の要望に応じ、社協独自のサービス提供を行います。

#### (1) 暮らし安心サービス（うきは市ヘルパーステーション）

利用者や家族、介護支援専門員等の要望を受けて、介護保険並びに障害福祉サービス事業において対象サービスとならない、通院時の院内介助等の身体介護や入院時の買物などの生活援助サービスを提供し、在宅生活の継続支援を行いました。

□利用者負担／1回当たり

時 間	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 1時間半未満	1時間半以上 (30分増す毎に)
身体介護	1,000円	2,000円	3,000円	1,000円
生活援助	800円	1,600円	2,400円	800円

【利用実績】 ※実利用者数 5 名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	0	2	2	1	3	2	1	1	3	3	4	4	26	2.2
利用回数	0	2	3	2	5	3	2	1	6	5	7	6	42	3.5

## 6. 連携・協働事業

### (1) うきはブロック介護サービス事業連絡会

うきはブロック介護サービス事業連絡会は、今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により、すべての事業を中止しました。在宅医療介護連携センター事業（介護事業部会）からの、講演会等の情報提供のみ、一斉メール配信にて実施しました。

### (2) 障害者就業・生活支援センターとの連携

障害者就労移行支援事業および就労定着支援事業については、障害者就業・生活支援センター「ぼるて」や障害者就業・生活支援センター「ちくぜん」との連携により、就職希望等についての相談に応じました。また、就労定着支援事業契約者については、本会が直接支援し、未契約や契約対象者期間を過ぎたケースについては、分担して継続的に支援を行いました。

### (3) 地域障害者協議会就労支援部会等への参加

地域障害者協議会就労支援部会では、事業所間の情報交換、研修会等に参加し、職員の資質向上や事業所の支援向上に努めました。

期 日	内 容
R4.5.25	今年度の活動について
R4.10.21	(就労支援勉強会)・事例検討「精神疾患のある利用者への支援方法について」
R4.12.4	(就労準備会) 講演会：「感覚の違いについて」
R5.2.15	今年度の振り返り 来年度の活動について

## 7. 家族介護者交流事業（市受託事業）

家庭で寝たきりや認知症高齢者を介護している家族の支援を行いました。

### ①在宅介護者の会「コスモスの会」活動支援助成（助成金：31,348 円）

期 日	会 場	参加者	内 容
R4.6.17	うきは市民センター 2 階 喫茶あひるの子	6 名	会計監査
R4.7.8	うきは市民センター 3 階 小会議室	8 名	役員会
R4.7.29	うきは市総合福祉センター 2 階和室	14 名	定例会：井戸端会議
R4.10.7	うきは市総合福祉センター 2 階和室	17 名	定例会：(研修：体操教室)
R4.12.7	御幸コミュニティセンター	14 名	介護料理教室
R5.2.14	うきは市民センター 2 階 喫茶あひるの子	8 名	役員会
R5.3.8	食事処 しらかべ	15 名	定例会：井戸端会議

### ②うきは市在宅介護者のつどい

うきは市内で在宅介護をされている方が、一日介護から少し離れリフレッシュできる機会として日帰り旅行を実施予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

## IV その他

### 1. 実習・見学受入状況等

#### (1) 視察受入（総務企画課、地域福祉課）

期日	団体・組織	人数	内容
R4.6.27	朝倉地域コミュニティ協議会	8名	地域での見守り体制構築にむけて ～うきは市における福祉小座談会等の取り組み～
R4.11.9	久留米市鳥飼校区社会福祉協議会	13名	うきは市不登校・引きこもり対策相談支援事業について
R5.2.10	長崎県長崎市	オンライン	うきは市の生活支援体制整備事業について

#### (2) 社会福祉士相談援助実習

団体・組織	人数
西南学院大学	1
計 1団体 1名	

#### (3) 訪問介護事業（うきは市ヘルパーステーション）

※今年度はヘルパー実習受入はありませんでした。

#### (4) 通所介護事業（うきは市デイサービスセンター）

※今年度は介護職員の実習受入はありませんでした。

#### (5) 障害者就労支援事業（ワークサポート白鳥の家）

##### ①実習・見学受け入れ

実習	小郡特別支援学校高等部（3名）
見学 (5団体・78名)	筑後わかたけ福祉会（3名） 大善寺地区民生委員会（12名） 東国分いきいきサロン（20名） 東・西村いきいきサロン（18名） 東国分元気クラブ（25名）

### 2. 講演・事例報告等への職員派遣（地域福祉課）

期日	内容	派遣職員
R4.10.24	うきは市老人クラブ連合会奉仕部会 「福富校区老人クラブと行う食の支援について」	地域福祉課 高橋
R4.11.14	吉井校区老人クラブ 「福富校区老人クラブと行う食の支援について」	地域福祉課 高橋
R4.11.15	福富校区老人クラブ 「フードバンク/ドライブ活動について」	地域福祉課 高橋
R4.11.29	特定非営利法人フードバンク福岡シンポジウム 「フードバンクを活用した社会貢献とは!？」 受取団体の取り組み 事例報告	地域福祉課 相良
R5.2.16	吉井地区民生委員協議会定例会 「社協が実施する児童にかかる主な事業について」	地域福祉課 相良
R5.2.21	浮羽地区民生委員協議会定例会 「社協が実施する児童にかかる主な事業について」	地域福祉課 相良
R5.3.27	県社協主催 令和4年度生活困窮者支援事業研修会 「うきは市社協における生活困窮者支援の取り組みについて」(Zoom 研修)	地域福祉課 相良

## V 令和4年度 寄付概要

### 1. 香典返し寄付

香典返し寄付金	合計	302 件	7,706,000 円
---------	----	-------	-------------

### 2. 一般寄付

一般寄付金	合計	43 件	309,385 円
-------	----	------	-----------

### 3. 物品寄付

物品寄付	合計	3 件	266,136 円
------	----	-----	-----------



## 令和4年度 事業報告 附属明細書

社会福祉法人うきは市社会福祉協議会

令和4年度事業報告には、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、定款第40条第2号に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。

以上